



日南海岸サイクルツーリズム協議会(第8回) 令和4年度 参考資料

- | | |
|-----------------------------|------|
| 1. 令和4年度企画部会の検討結果について | P. 1 |
| 2. 令和4年度整備部会の検討結果について | P. 7 |

令和4年10月11日

1. 令和4年度企画部会の検討結果について

1. 令和4年度企画部会の検討結果について ～アクションプラン～

項目		対応方針	これまでの取組 (R2.11末)	具体的な取組（短期）	具体的な取組（中期）	
				令和2年度	令和3年度	令和4年度
①日南海岸の実績に応じた自転車 通行空間の整備		-（全10ルート of 総延長約250km）	試行区間など14kmで整備済	● 試行区間の整備 ● 整備方針の効果検証	● R4年度までの整備スケジュール検討	● 宮崎市～日南市間（約49km）で自転車通行空間の優先整備を目指す（矢羽根・案内サイン） ※矢羽根は100m間隔での設置を基本
		-（沿線に代表的な観光地が多数ある）	沿線に代表な観光地が多数ある	-	-	-
		-（全区間で自転車通行可能）	全区間で自転車通行が可能	-	-	-
②サイクリストのニーズに配慮したサポート環境の拡充	休憩施設の充実（サイクルスタンド、修理工具等の充実）	「サイクルステーション」としての必要機能要件を満たす、サイクルラック・空気入れの設置施設を増やす ※HP等情報発信ツールと連携	「サイクルステーション」の必要機能要件を概ね満たす箇所：30箇所（R2.11時点）	● 整備必要位置、整備可能施設の洗い出し	● 休憩施設の見直し・整理（サイクルステーションの必要機能を概ね満たす箇所を33箇所確保） ● 空白地帯の一部解消 ● 設置に向け施設への協力依頼 ● 休憩施設候補となる施設の現状を把握	● サイクルステーションの必要機能を概ね満たす箇所を38箇所確保（R3.9以降で5箇所拡大） ● 休憩施設の拡大 ● 休憩施設の情報発信方針の検討
③サイクリストの利便性を高める取組の推進	1. サイクルマップ作成	各種サイクルマップ（紙版、WEBマップ）の内容の充実を図る	初版のサイクリングマップを作成し、各所で配布	● 設置箇所・配付状況・ホームページ掲載現況の把握	● 設置箇所の見直し、追加拡充 ● WEBマップのベース作成及び更新方法の整理	● WEBマップの作成 ● WEBマップの関係機関のHPへの掲載
	2. 利用者にわかりやすい情報発信（HP等）	ひなたサイクリングみやざきHP等での情報発信内容の充実を図る ※HP等情報発信ツールと連携	ひなたサイクリングみやざきHP等で情報発信を実施	● HPの開設方針を検討（新規に立ち上げ、もしくはひなた自転車協会HPに追加）	● HP作成、SNS開設に向けた情報発信方法・内容の検討 ● サイクリング・観光情報の整理	● HP作成、情報発信を実施（ひなたサイクリング宮崎HP内） ● SNS開設 ● QRコード活用の検討
	3. 代替交通手段の推進	代替交通手段の常設化に向けた関係機関協議や、輪行袋利用のPRを推進	輪行文化の普及を目指したモニターツアーを実施	● 宮崎県に適した移動手段ニーズ把握 ● 輪行普及イベント開催状況の把握	● 回送、迂回手段等を含めたニーズ調査（本地域に適した手段の検討） ● 輪行普及イベントの継続実施	● 導入可能性について調査検討 ● 関係交通機関との協議・ヒアリング ● 輪行普及イベントの継続実施
	4. 利用者が立ち寄りやすい宿泊施設サービス開始	屋内での自転車預かり・保管等が可能な宿泊施設の把握・PR、新規対応施設の開拓 ※HP等情報発信ツールと連携	自転車の屋内保管等可能な宿泊施設を整理中（現時点で13箇所把握）	● 施設の現状把握・課題分析 ● 整備候補（拡充）地の選出、可能性調査	● サイクリスト向けのモデル宿泊施設を8施設抽出 ● 施設への協力要請 ● 可能施設のマップ、HP等への掲載、導入方法の調査検討	● サイクリングマップの配布などサイクリスト向けのモデル宿泊施設8施設と連携した情報発信を実施
	5. レンタサイクルサービス	出発拠点となる施設等におけるレンタルサイクルまたはシェアサイクルの整備を推進 ※HP等情報発信ツールと連携	「ゲートウェイ」候補施設におけるレンタルサイクル等貸出箇所5箇所	● 機能拡充施設、新規整備施設候補の洗い出し	● 出発拠点となる施設を5施設抽出 ● 施設の現状に関するヒアリングを実施	● レンタサイクルサービスの導入もしくは拡大に適した施設を整理 ● 施設に対する実施可能性に関するヒアリングを実施

1. 令和4年度企画部会の検討結果について ～アクションプラン～

項目	対応方針	これまでの取組 (R2.11末現在)	具体的な取組 (短期)	具体的な取組 (中期)		
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	
④地域交流による憩いやくつろぎサービスの提供	1. 飲食店、温泉施設、宿泊施設等の情報提供	ひなたサイクリングHP等での情報発信内容の充実を図る ※HP等情報発信ツールと連携	ひなたサイクリングHP等で情報発信を実施	●関係機関・団体等への情報提供およびHP掲載依頼	●HP作成、SNS開設に向けた情報発信方法・内容の検討 ●サイクリング・観光情報の整理	●HP作成、情報発信を実施（ひなたサイクリング宮崎HP内） ●SNS開設 ●QRコード活用の検討
	2. 道の駅、港の駅等と連携した取組	道の駅、港の駅等において、サイクリスト受入環境充実に向けた施策を検討・実施	沿線の道の駅・港の駅全4箇所で、サイクリステーション必要機能を充足	●物品の品目、値段確認 ●工具貸出、用品販売対応等の可能性調査	●施設への協力要請 ●自転車の販売を実施する施設を4施設抽出 ●自転車用品の調達方法整理	●4施設で自転車用品の試行的な販売を実施
	3. 外国客が宿泊可能な環境の整備推進	ルート沿線での外国客宿泊可能施設および多言語対応ツールの整備を図る ※HP等情報発信ツールと連携	-	●宿泊施設HPの多言語情報調査 ●対応可能な候補地の選定	●マップ、HP等の多言語化検討 ●外国客への情報発信を図る施設として3施設を抽出 ●宿泊施設への協力要請 ●宿泊対応施設のマップ記載	●マップ、HP等の一部多言語化 ●3施設において外国客への多言語による情報発信を実施
⑤サイクルイベントの充実・拡大による交流の促進	走行会、散走イベント、ツール・ド・南みやざき、グレートアース宮崎・日南海岸ライドなどのサイクルイベントの開催	ルートを活用した小中規模のサイクルイベントの充実を図り、実施頻度の増加と誘客を図る ※HP等情報発信ツールと連携	ツール・ド・南みやざき、グレートアース宮崎・日南海岸ライド、自転車パラダイス宮崎、おはようサイクリング等のサイクルイベントを開催	●地域で開催されているサイクルイベント等の開催状況調査	●既存イベントとの連携・協力依頼 ●イベント企画および開催に向けた関係者協議 ●ツール・ド・南みやざき継続開催	●サイクルロゲイニングなどコロナ禍を考慮したイベントを開催 ※適宜コロナ禍の状況を踏まえたイベントの開催を検討
⑥サイクルツーリズムの普及・拡大を通じた地域振興の新たな取組	1. サイクルツアーガイドの育成・活用	ガイドの継続育成・養成ガイド数の増加、ガイドツアーに向けた調査・検討、ガイド活用・連携体制の構築を図る	サイクルツアーを引率するガイドを養成するための講座を実施	●地域でのガイド数把握 ●講座内容・実施実績調査	●ガイド活用・連携体制の構築	●別途開催されるツアーにガイドを派遣 ●ガイド活用・連携体制の充実
	2. 観光協会との連携企画	観光協会や旅行会社との連携企画を推進する	GoToトラベル事業として、宮崎カーフェリーとの連携企画を実施中	●旅行会社へのPR商材の材料を整理	●旅行会社等へのプロモーション方法検討	●旅行会社等へのプロモーション
	3. 旅行会社とのコラボ企画（バックツアー企画）					
	4. 地元（関連団体・店舗・施設等）との連携	地元の関連団体・観光施設・飲食・商店街等との連携企画を推進し、地元のPRおよび観光消費額UPを図る ※情報発信ツールと連携	-	●現状の取組調査	●地元との連携企画（案）の検討	●地元との連携・企画実施にむけた体制づくり ●HP等での地元情報発信

3

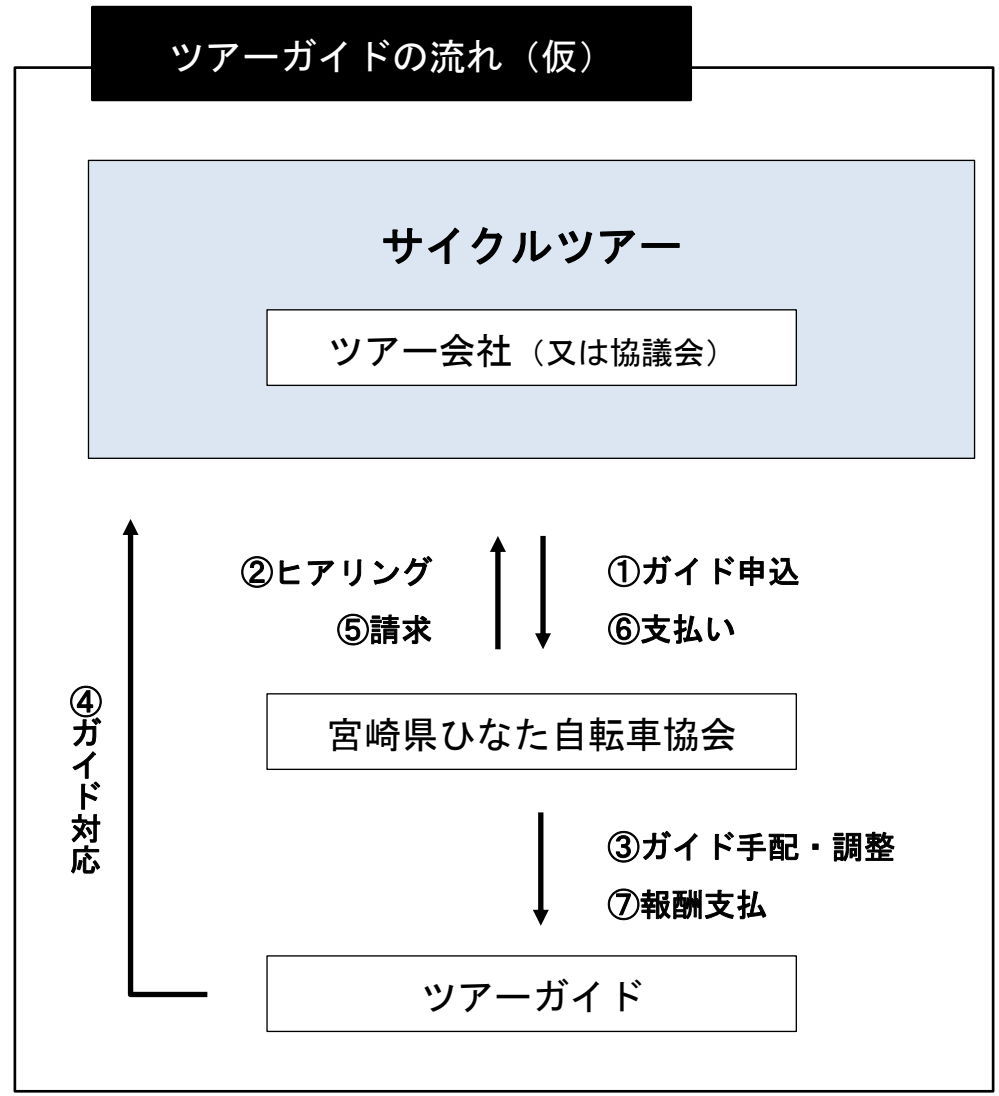
- ◎現状：これまで宮崎県の事業によって養成された地元のサイクルツアーガイドの活用が求められる。
- ◎今後：宮崎県ひなた自転車協会と連携し、旅行会社等が実施するツアーに対し、必要に応じてガイドを派遣する。

■サイクルツアーガイドの実態・実績

▼サイクルツアーガイドの体制・窓口

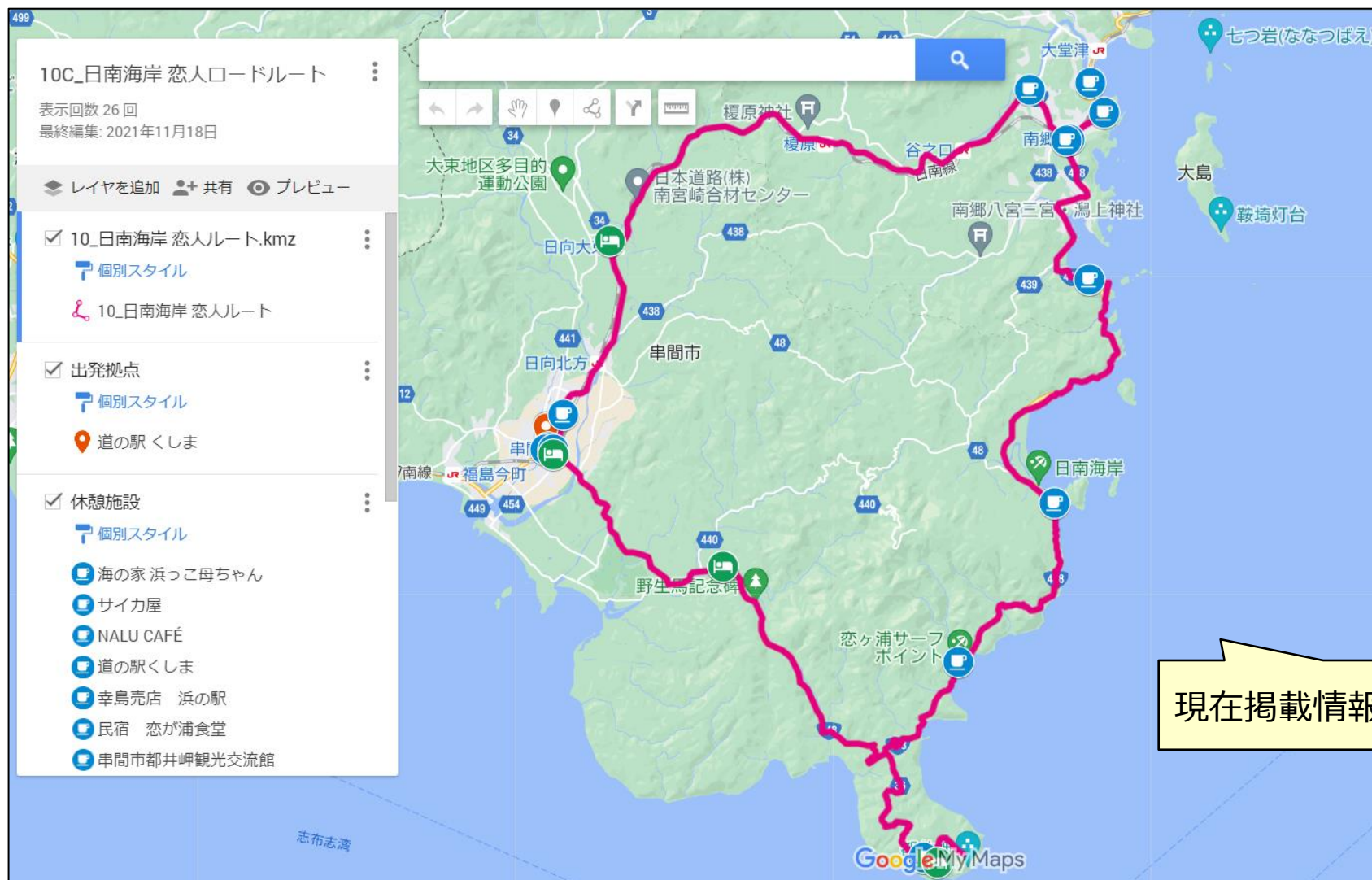
（宮崎県ひなた自転車協会聞取り）

- (1) ガイド人数
県南地域の対応可 → 2名～3名
※県内全体では20名程度
※今後もガイド育成を図るため増える可能性有
- (2) ガイド費用
1日12,000円／名 程度（企画費、保険料含む）
※ツアーの参加人数でガイドの必要数が変動
→ 参加者4～5人当たりガイド1名
※モニターツアー等であれば料金交渉も検討
※自転車のレンタルも対応可
→ 3,000円／台 程度（電動：4,000円／台）
- (3) 連絡窓口
宮崎県ひなた自転車協会
（委託：ひなたシクロサービス） 事務局 岩切氏
TEL：090-2451-6895
E-mail：miya.cycling@gmail.com
- (4) その他：
 - ①日程や参加者の属性、予算を踏まえたアテンドが可能
 - ②外国語対応も可（2名が対応可）
 - ③観光ガイドは不可（サイクルツアーのアテンドのみ）



- ◎現状：令和4年度にWEBマップを作成。現在ベースを作成し、掲載する情報の整理を行っている。
- ◎今後：令和4年12月までにホームページにWEBマップを掲載する。

■WEBマップのベース作成



現在掲載情報を整理中

◎3年ぶりにツール・ド・南みやざきが開催される。(日南市・串間市) イベントの開催にあたり協力していく。

■ ツール・ド・南みやざき 11月12日・13日



ツール・ド・南みやざき2022

わくわくサイクリング in くしま

2022.11.12(土)・13(日)

日時 2022.11.13(日) 6:30 受付開始
(集合場所・スタート: 串間市総合運動公園)

A・Bコース合わせて【定員】200名

A ガツリ走る! 都井岬コース

【参加費】6,000円
(中学生以下 5,500円)
スタート 8:30

熟練者にも適度な体力
あるコースです!

約90km

B 楽しく走る! 都井岬ショートコース

【参加費】5,500円
(中学生以下 5,000円)
スタート 9:00

自然を満喫しながら
楽しめるコース!

約70km

ダブルエントリーOK!!
たとえば、南郷町でゆっくりお子
さんとボタリングを楽しみ、翌日
は仲間と都井岬にチャレンジ!
など楽しみ方はいろいろ!

日時 2022.11.12(土) 8:00 受付開始
(集合場所・スタート: 南郷町目井津漁港)

C ゆっくり走る! 南郷町ボタリングコース

【参加費】4,000円
(中学生以下 3,500円)
スタート 9:30

【定員】50名 約35km

お申し込み方法 利用・登録はカンタン・安心!
スポーツエントリー
WEB サイトから簡単登録!

<https://www.sportsentry.ne.jp/event/t/88148>
詳しくはこちら! スポーツエントリー 検索

TEL 0570-039-846
※通話料がかかります。※音声ガイダンスのあと「1」を押してください。※参加費のほか
利用料がかかります。(WEBサイト: 参加費4,000円以下220円、4,001円以上5.3%。
TEL・FAX: 参加費4,000円以下300円、4,001円以上7%)

地元のおいしいエイド!
串間、日南の
おいしいエイドを
ご用意しています!

※写真はイメージです

台数限定貸出
ロードバイク、
クロスバイクの
貸出あり!

先着
30台
限定!

お申し込みはお早め!

関連イベント くしまエコツーリズム 体験!

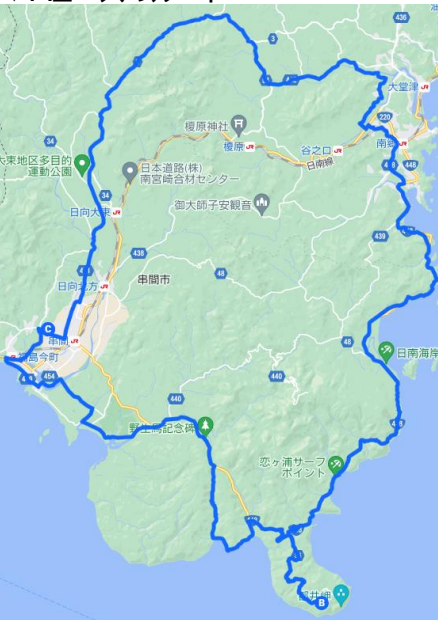
※詳細はTELにてお問い合わせください!

関西からのご利用には、さんふらわがが便利です。

ご連絡・お問い合わせ先 TEL 090-9598-8214 E-mail shimadon@gmail.com
主催: ツール・ド・南みやざき実行委員会 共催: 日南海岸サイクルツーリズム協議会 後援: 串間市 日南市
協力: くしままちづくり協議会 南郷まちづくりGOGO会 日南海岸きらめきライン ひなた自転車協会

主催	ツール・ド・南みやざき実行委員会 (事務局: 串間市サイクリング協会)
共催	日南海岸サイクルツーリズム協議会
後援	串間市 日南市
協力	くしままちづくり協議会 南郷まちづくりGOGO会 日南海岸きらめきライン ひなた自転車協会

▼Aコースのルート



現在参加者へのアンケート調査
の実施を検討中

2. 令和4年度整備部会の検討結果について

2. 令和4年度整備部会の検討結果について ～R4優先整備区間の整備スケジュール～

- ◎国 : R4年度に整備完了予定
- ◎県 : R4年度に整備完了予定
- ◎宮崎市 : R4年度に一部整備困難

宮崎市中心部～運動公園周辺



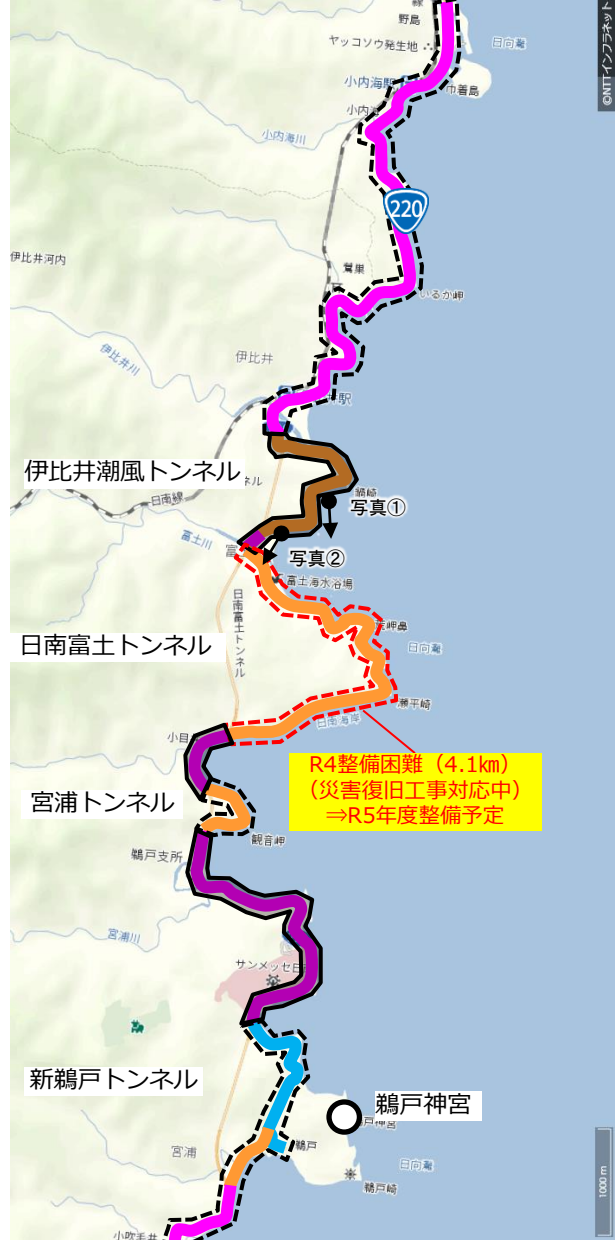
運動公園周辺～小内海駅周辺



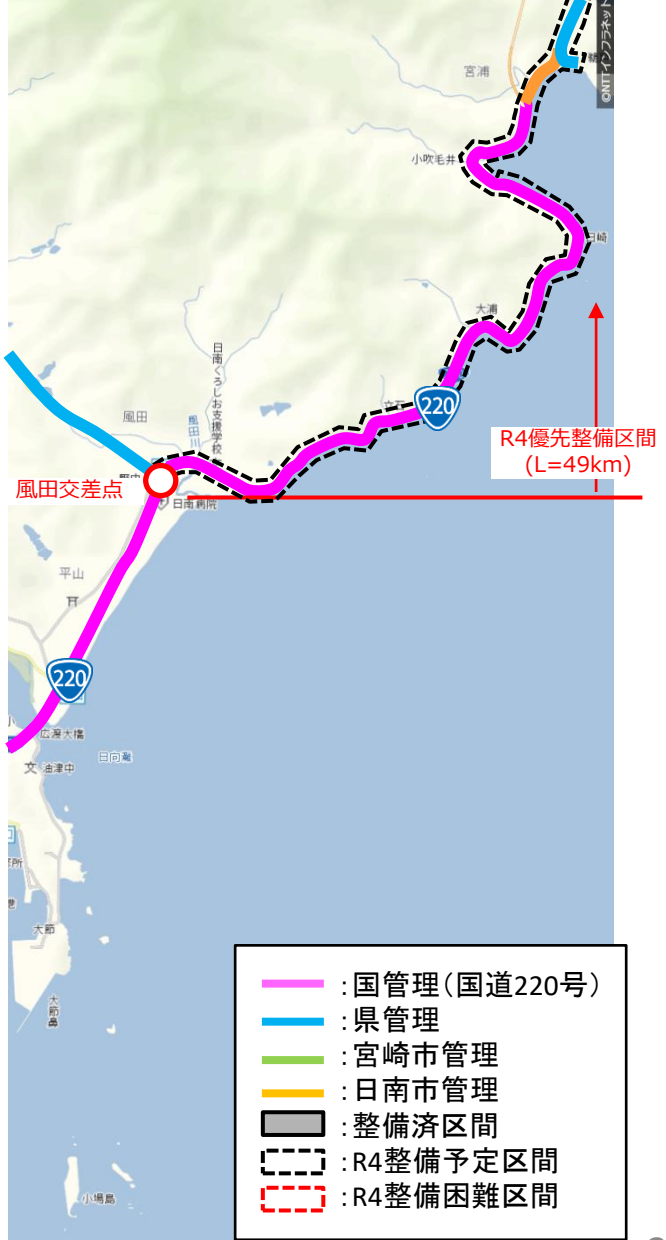
2. 令和4年度整備部会の検討結果について ～R4優先整備区間の整備スケジュール～

- ◎国 : R4年度に整備完了予定
- ◎県 : R4年度に整備完了予定
- ◎日南市 : R4年度に一部整備困難 (R5年度整備予定)

小内海駅周辺～鵜戸神宮周辺



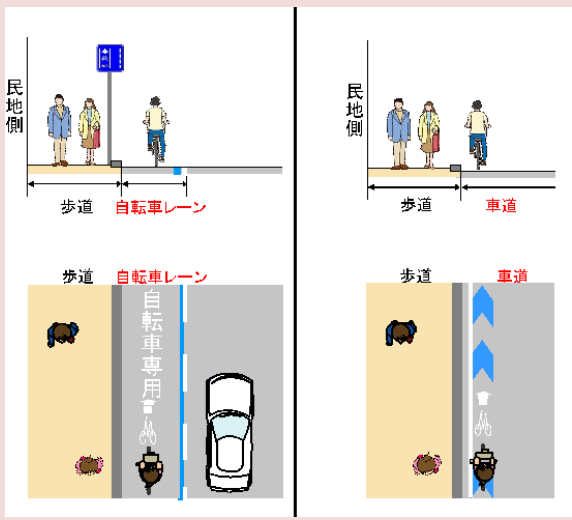
鵜戸神宮周辺～風田交差点周辺



2. 令和4年度整備部会の検討結果について ～整備方針～

◎今後、ナショナルサイクルルート(NCR)登録を目指す可能性があることから、NCR指定要件を参考とした以下の整備方針に基づき、自転車通行空間の整備を実施。

■都市部(DID地区)
○自転車ネットワーク計画あり

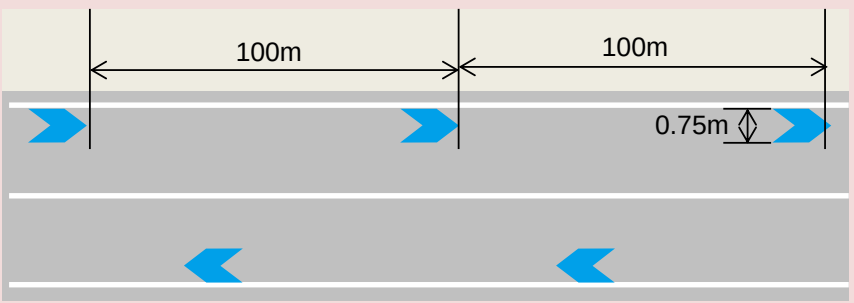


自転車ネットワーク計画に基づき、自転車レーン・矢羽根等での整備を実施

※出典：宮崎市自転車活用推進計画(R2.3)

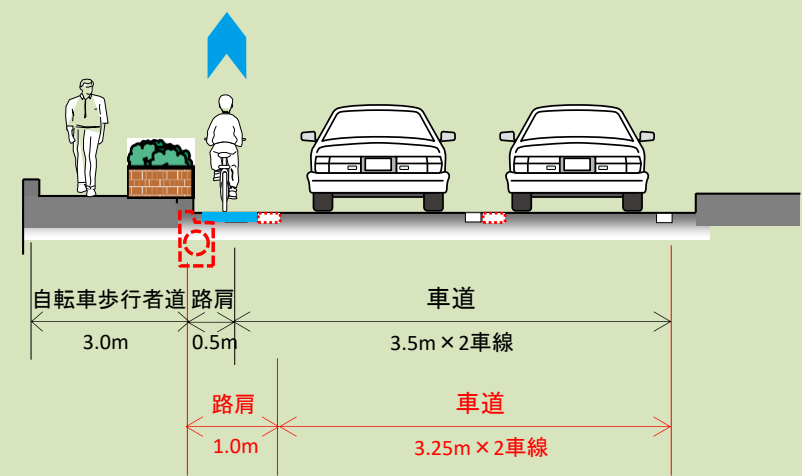
○自転車ネットワーク計画なし

100m間隔で矢羽根を設置



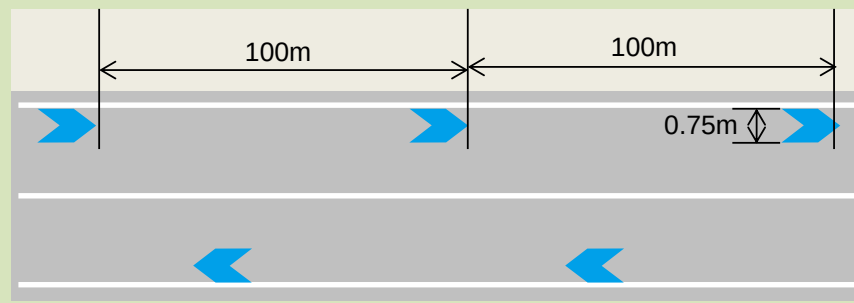
■郊外部(DID地区以外)
○計画(現況・将来)交通量1万台/日以上

車道狭幅員化や側溝差し替えなどにより、路肩部1.0m以上の空間を確保し、100m間隔で矢羽根を設置



○計画(現況・将来)交通量1万台/日未満

100m間隔で矢羽根を設置(トンネル並行かつ交通量が少ない区間では設置間隔を緩和: 200m間隔)

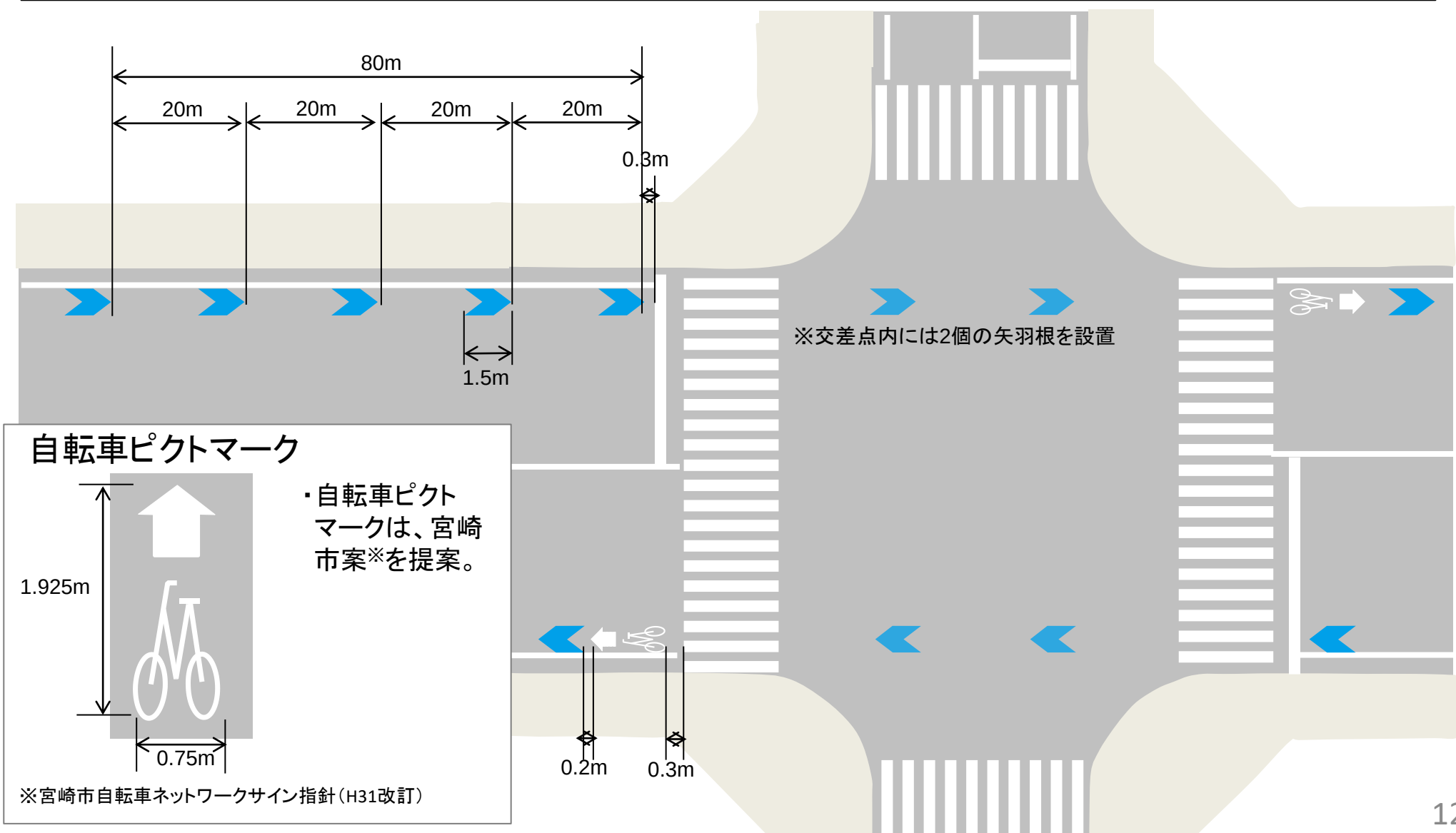


- ◎自転車利用者の安全性を考慮し、ガイドライン※に準じて、路肩幅員に応じた位置に矢羽根を設置。
- ◎路肩幅員1.0m未満の場合、路肩は狭く、車道部が歩道側より走行性に優れるため、「外側線内側（車道内）」に矢羽根を設置。
- ◎国道220号は、片側歩道で路肩幅員1.0m未満の区間が多いため、両側で統一して「外側線内側（車道内）」に設置となる。

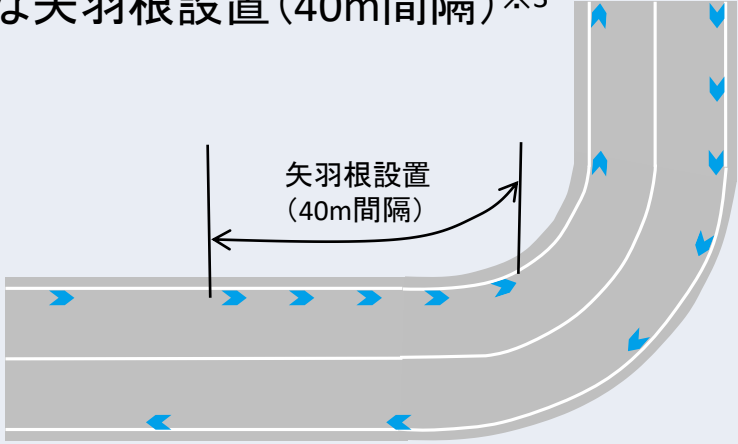
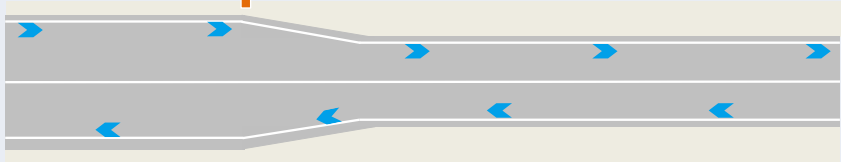
	歩道あり		歩道なし
	路肩幅員1.0m以上 （側溝除く）	路肩幅員1.0m未満 （側溝除く）	
設置位置	路肩 （歩道境界より25cm離隔）	外側線内側（車道内） （外側線に隣接）	外側線内側（車道内） （外側線に隣接）
設置イメージ			

2. 令和4年度整備部会の検討結果について ～整備方針～

- ◎交差点部では、自転車利用者の安全性を考慮し、交差点部流入部では「20m間隔」、交差点内は「2個」の矢羽根を設置し、ドライバーや自転車利用者に対して注意喚起を行う。
- ◎交差点流出部に「自転車ピクトマーク」を設置。



- ◎急カーブ区間では、自転車利用者の安全確保のため、「40m間隔」の密な間隔で矢羽根を設置。
- ◎危険性が高い箇所（幅員狭小区間等）については、必要に応じて、ラバーポール等での注意喚起を実施。

	急カーブ区間	危険箇所（幅員狭小区間など）
対象箇所（案）	急カーブで危険性が高い箇所※1 下り勾配などスリップの危険性が高い箇所は除く 	危険性が高い箇所 幅員狭小区間※2への幅員変化区間など 
対策案	密な矢羽根設置（40m間隔）※3 	ラバーポール等での注意喚起 危険性が高い箇所など必要に応じて実施 

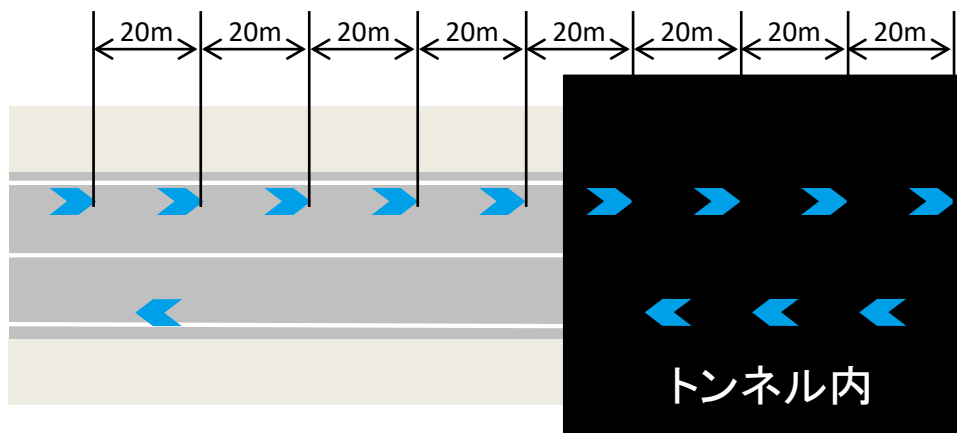
※1: 設計速度60km/h時の最小曲線半径R=150m未満など
※2: 3種2級の必要車線幅員3.25mより狭い幅員の場合など
※3: 矢羽根設置位置は、歩道の有無、路肩幅員に応じて設定

2. 令和4年度整備部会の検討結果について ～整備方針～

- ◎トンネル部では、ドライバーへの注意喚起のため、トンネル流入部に20m間隔の矢羽根を5箇所程度で設置。
トンネル内にも同様に20m間隔で矢羽根を設置。
- ◎自歩道において、走行位置が複雑で自転車同士の錯綜などが懸念される危険箇所では、自転車の走行位置明示のため、矢羽根を4～6箇所で設置(順走:青、逆走:赤)。

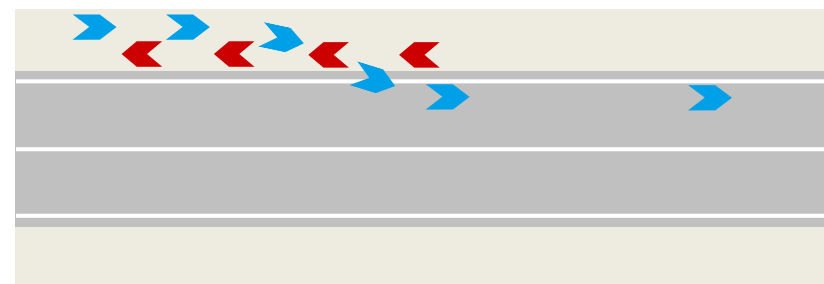
■トンネル部(鵜戸隧道等)

トンネル流入部に20m間隔の矢羽根を5箇所程度で設置。
トンネル内には20m間隔で矢羽根を設置



■歩道上での錯綜箇所(日南隧道周辺等)

走行位置を表すための矢羽根を4～6箇所程度で設置
(順走:青、逆走:赤)

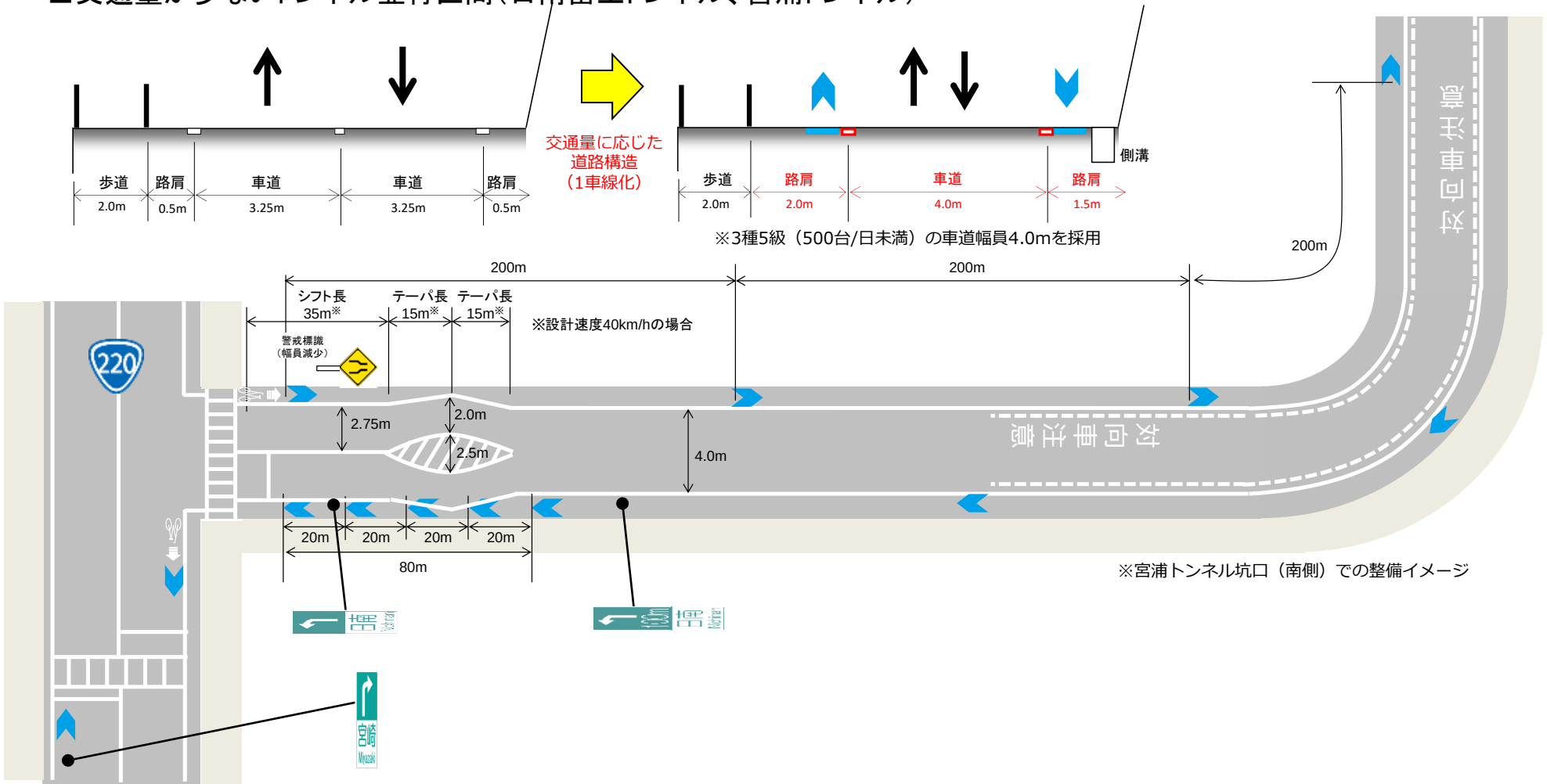


2. 令和4年度整備部会の検討結果について ～整備方針～

第7回協議会(R3.9)で提示済

- ◎交差道路やバス路線がなく、交通量が少ないトンネル並行区間については、交通量に準じ、3種5級区分（1車線化）により自転車通行空間を確保する。
- ◎2車線→1車線となる区間にゼブラ帯及び警戒標識を設置し、ドライバーに対しての注意喚起を実施。
- ◎交通量の少ない単路となるため、矢羽根設置間隔は200mとし、ドライバーを含めた安全対策も併せて実施。

■交通量が少ないトンネル並行区間(日南富士トンネル、宮浦トンネル)



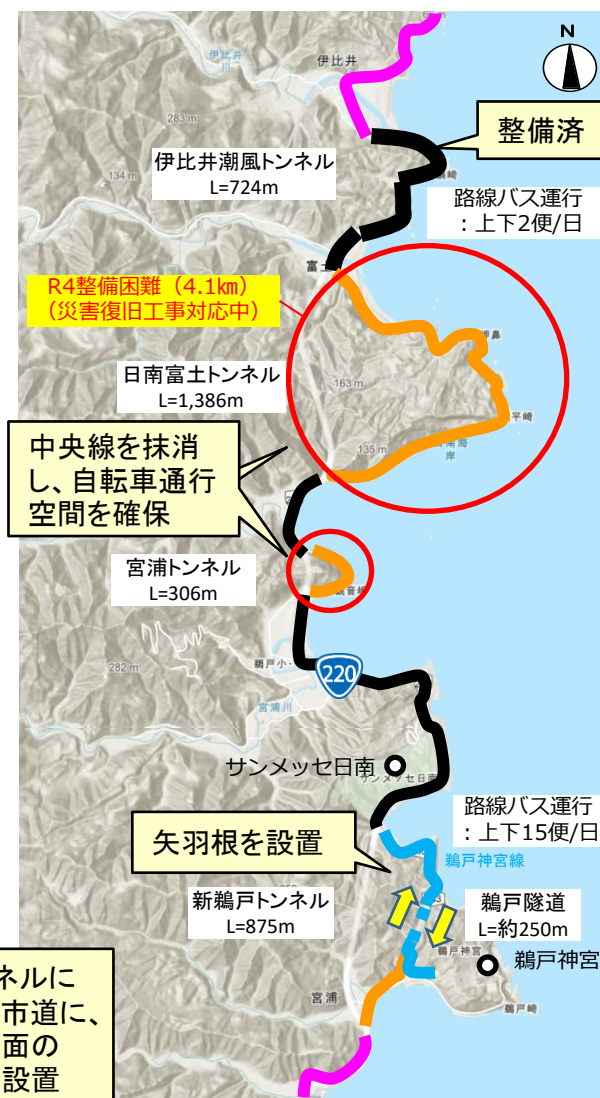
2. 令和4年度整備部会の検討結果について ～トンネル並行区間の整備計画～

◎トンネル並行区間のなかで、主要な道路の交差や路線バス運行がなく、交通量が少ない日南富士トンネル・宮浦トンネル並行区間については、空間再構築(1車線化)のうえ、矢羽根を設置。

◎その他並行区間は、矢羽根を設置。



(C) NTTインフラネット



(C) NTTインフラネット

■伊比井潮風トンネル並行区間



■日南富士トンネル並行区間



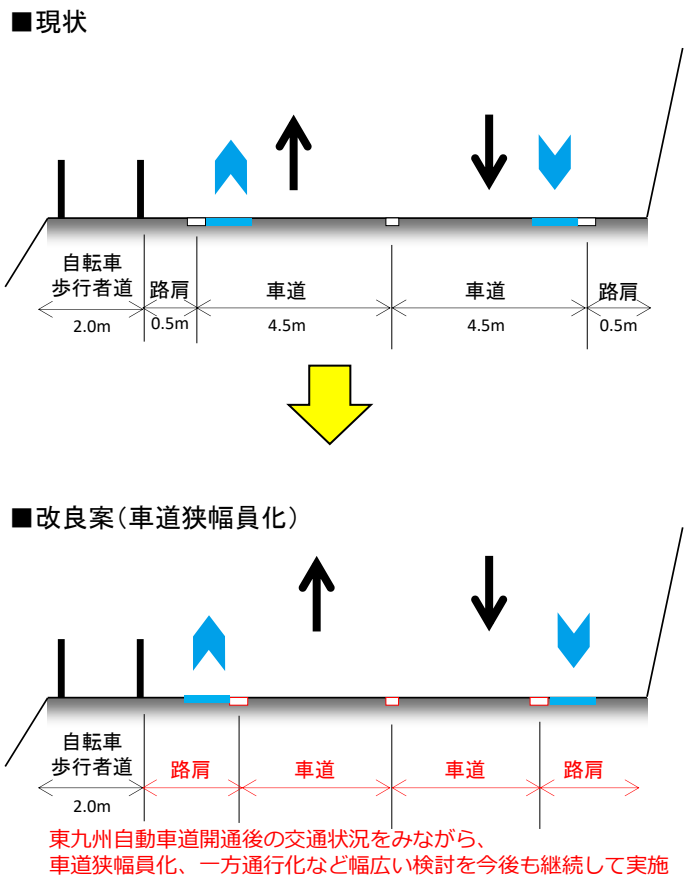
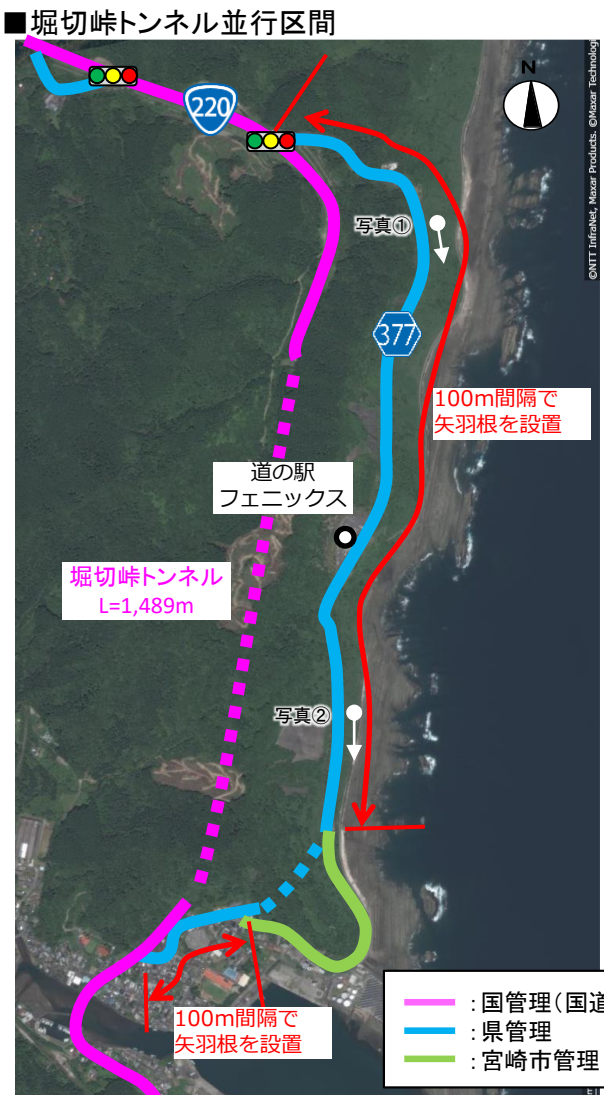
■宮浦トンネル並行区間



※原則100m間隔だが、交差道路も少ない単路区間のため、トンネル並行区間は200m間隔でも可とする

2. 令和4年度整備部会の検討結果について ～トンネル並行区間の整備計画～

- ◎堀切峠トンネル並行区間については、景観に優れる堀切峠や道の駅フェニックスが存在することから、日南海岸サイクリングルートメインルートとして、空間再構築等による自転車通行空間の確保などを検討。
- ◎当面は現状の幅員構成での運用とするが、将来的(R5年度以降)には、東九州自動車道開通後の交通状況を見ながら、一方通行化なども含めて、幅広い検討を実施。



2. 令和4年度整備部会の検討結果について ～トンネル並行区間の整備計画～

◎宮浦トンネル並行区間については、主要な道路の交差やバス路線がなく、交通量も少ないため、空間再構築（1車線化）により自転車通行空間を確保するとともに、200m間隔で矢羽根を設置。

◎R4年度に整備完了予定。

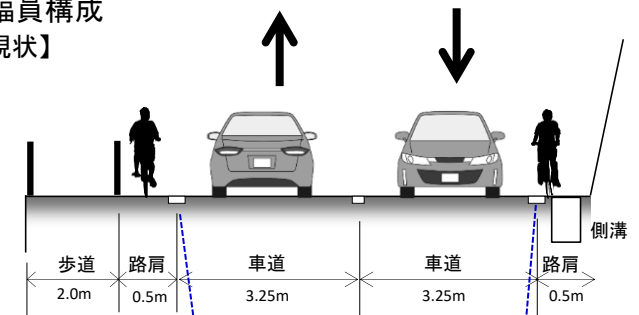
■宮浦トンネル並行区間



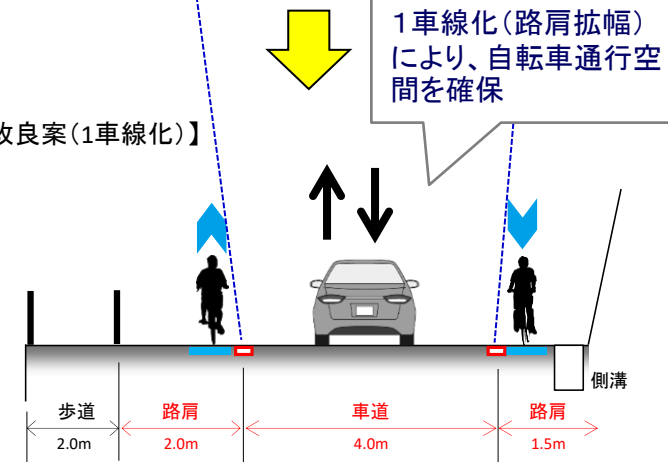
(C) NTTインフラネット



▼幅員構成【現状】



【改良案(1車線化)】



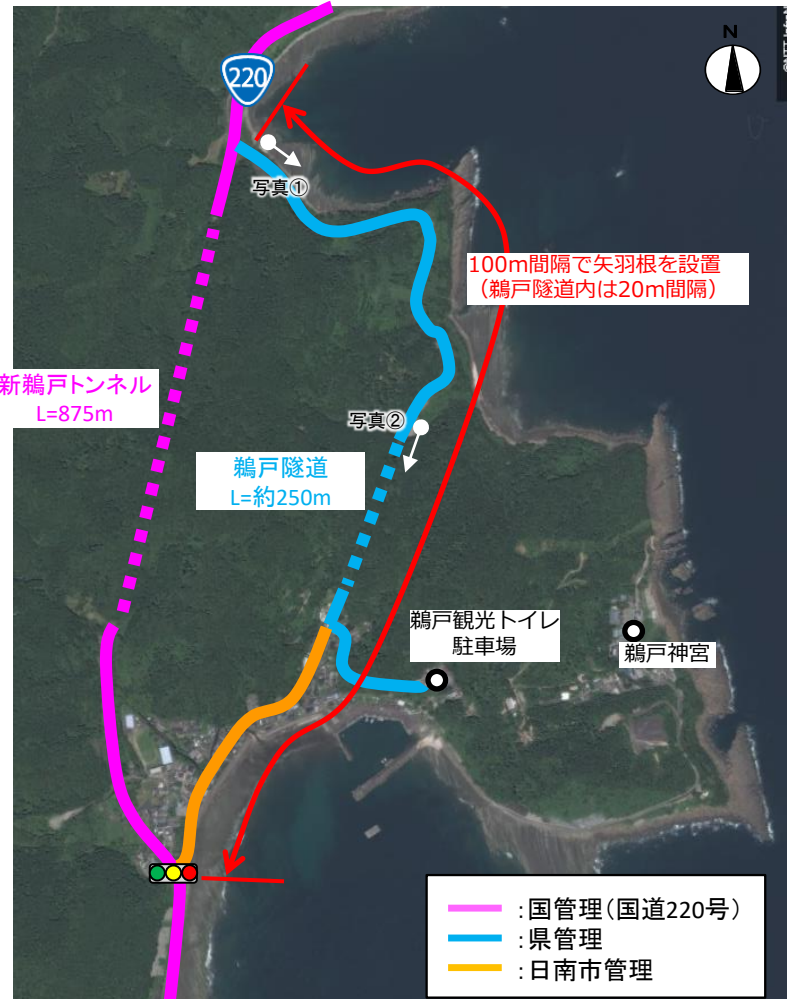
※3種5級（500台/日未満）の車道幅員4.0mを採用

2. 令和4年度整備部会の検討結果について ～トンネル並行区間の整備計画～

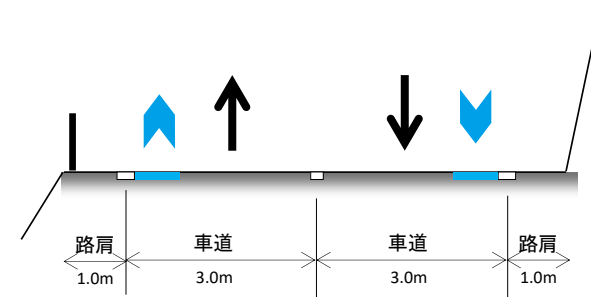
第7回協議会(R3.9)で提示済

- ◎新鵜戸トンネル並行区間については、バス路線(上下15便/日)があり、鵜戸神宮を訪問する観光客等が利用する路線であることから、基本方針に基づき、100m間隔で矢羽根を設置。
- ◎鵜戸隧道には並行路線がないことから、トンネル内に20m間隔で矢羽根を設置。

■新鵜戸トンネル並行区間



■整備案



100m間隔で矢羽根を設置
(鵜戸隧道内は20m間隔)

2. 令和4年度整備部会の検討結果について ～R5年度以降の次期整備計画～

▼日南市風田～串間市:次期整備ルート(約208km)の整備スケジュール

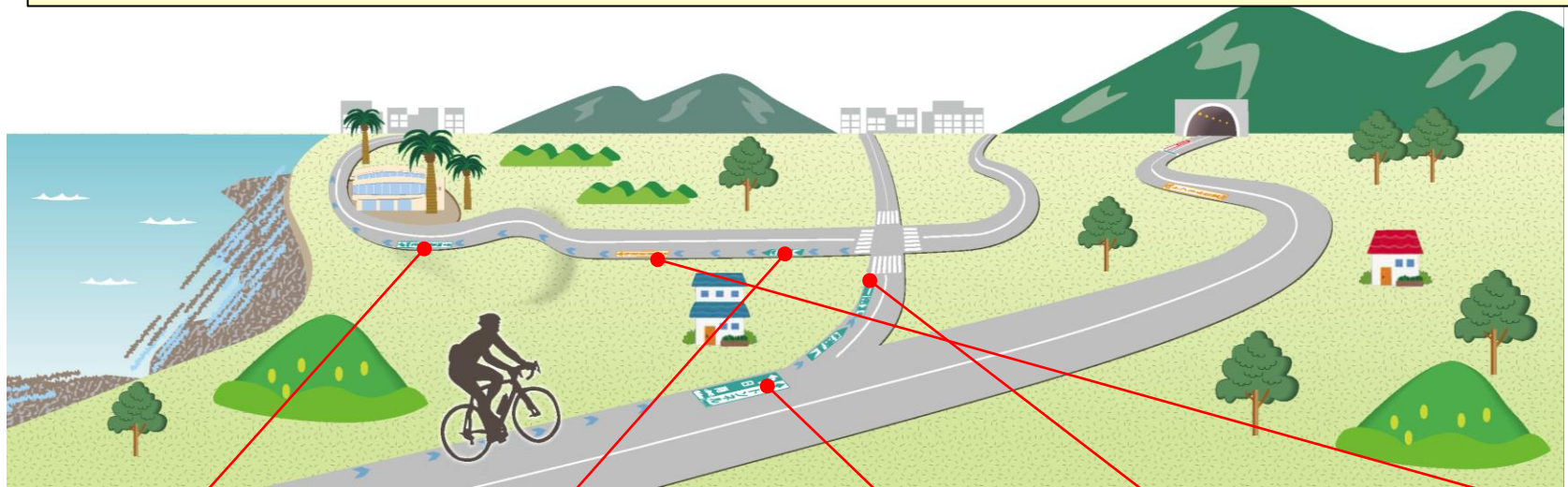
道路管理者	次期整備 ルート	次期優先整備ルート R5～R10	その他ルート R11～
国	34km	34km(100%)	
宮崎県	146km	103km(71%)	146km(100%)
宮崎市	4km	4km(100%)	
日南市	5km	3km(55%)	5km(100%)
串間市	19km	16km(85%)	19km(100%)
合計	208km	161km(77%)	208km(100%)

※四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある

2. 令和4年度整備部会の検討結果について ～案内サイン設置方針～

第7回協議会(R3.9)で提示済

◎サイクリングルートのご案内、危険箇所における注意喚起を目的に、距離標・主要観光地周辺・交差点部・分流部・危険箇所(勾配箇所、自歩道案内箇所等)を対象に案内サイン・注意喚起サインを設置。



自転車利用者からの意見をもとに日南海岸独自のシンボルマークをデザイン
(距離標に表示)



○観光地案内: 主要観光地を案内
設置箇所: 主要観光地手前(道の駅、青島神社等)【100m手前、直前】

道の駅
100m

道の駅

○距離標: 主要市街地までの距離を案内
設置箇所: 主要ルート(国道220号等)【5km間隔】

宮崎
Miyazaki
15 km

日南
Nichinan
15 km

串間
Kushima
15 km

○分流部: ルートが2つ以上分岐する分岐点において、それぞれのルート(行先)を案内
設置箇所: ルートが2つ以上分岐する交差点【100m手前、直前】

宮崎
Miyazaki
100m

串間
Kushima

宮崎
Miyazaki

串間
Kushima

○交差点部(右左折部): 右左折が必要な交差点部において、右左折を案内
設置箇所: 右左折が必要な交差点【100m手前、直前】

100m
宮崎
Miyazaki

宮崎
Miyazaki

○安全対策(自転車への注意喚起): 危険箇所があることをサイクリストに対して注意喚起
設置箇所: 急勾配部手前、自歩道部、幅員狭小箇所等

上り勾配注意
STEEP ASCENT

下り勾配注意
STEEP DESCENT

ゆっくり
SLOWLY

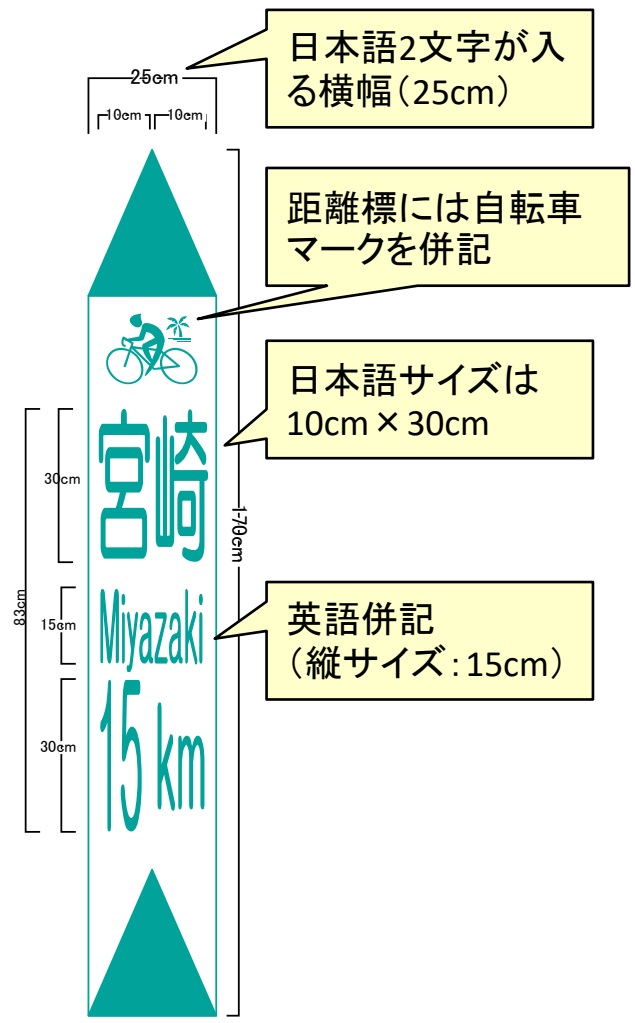
側溝に注意

2. 令和4年度整備部会の検討結果について ～案内サイン設置方針～

第7回協議会(R3.9)で提示済

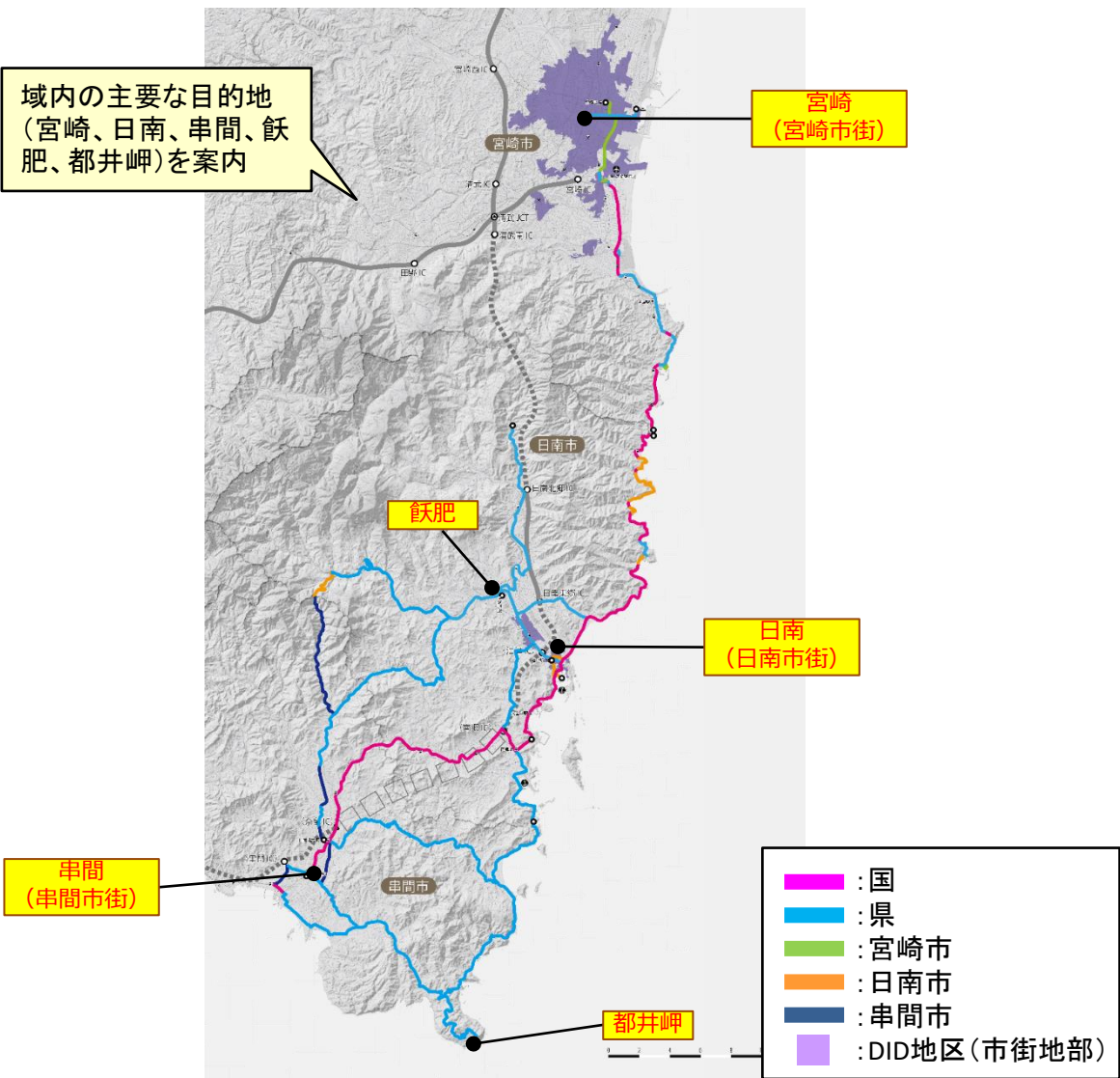
◎案内サイン(路面標示案)の基本方針は以下の通りとする。

項目	内容	設定理由
文字 (サイズ)	10cm(横幅)	・時速30km/h以下で走行する場合の文字サイズの基準値 (道路 標識設置基準・同解説より)
文字 (縦横比)	1(横):3(縦) (10cm:30cm)	・路面標示の標準比率 (路面標示設置マニュアルより)
案内サイン サイズ	横幅250mm	・基準文字(W=10cm)2文字が並列で表示できる横幅
多言語 対応	・外国人にも読めるように「英語表記」を記載 ・英語の縦サイズは「15cm」 (漢字30cmの1/2)	・外国人サイクリストにも確認できるように英語併記 ・英語サイズは漢字サイズの1/2 (道路標識設置基準・同解説より)
自転車 マーク	自転車マークを併記(距離標)	・日南独自の自転車マークを併記

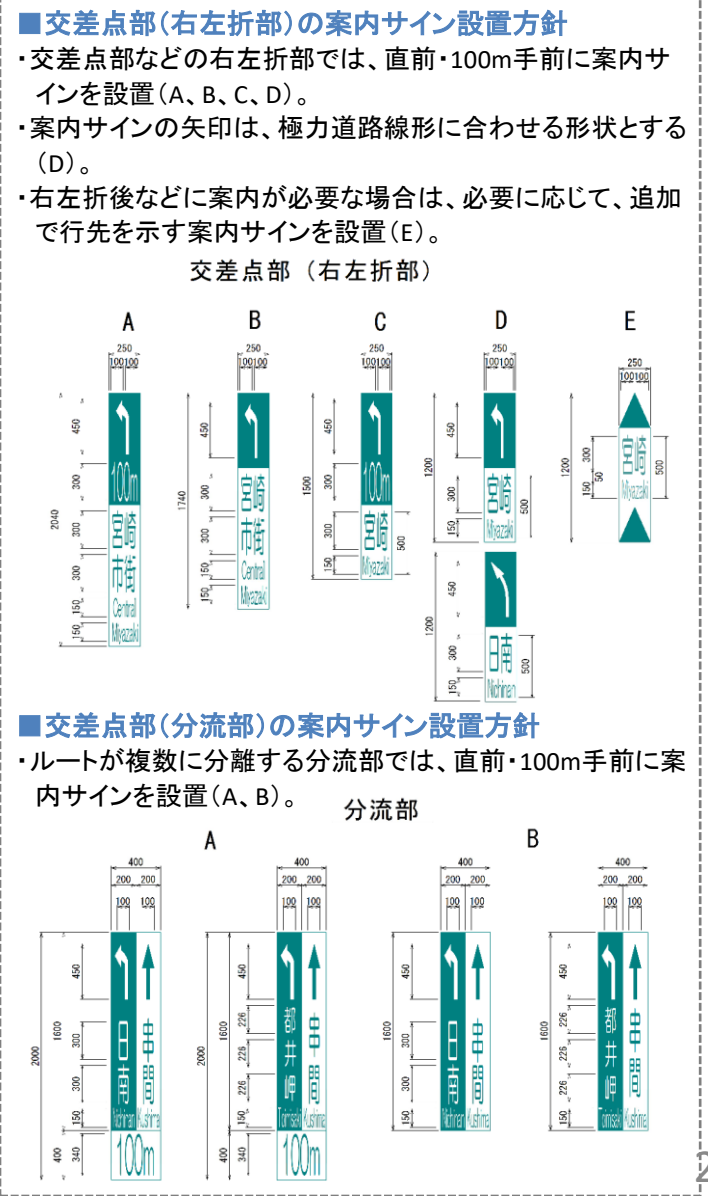


2. 令和4年度整備部会の検討結果について ～案内サイン設置方針～

◎交差点部(右左折部・分流部)では、案内サインを設置。

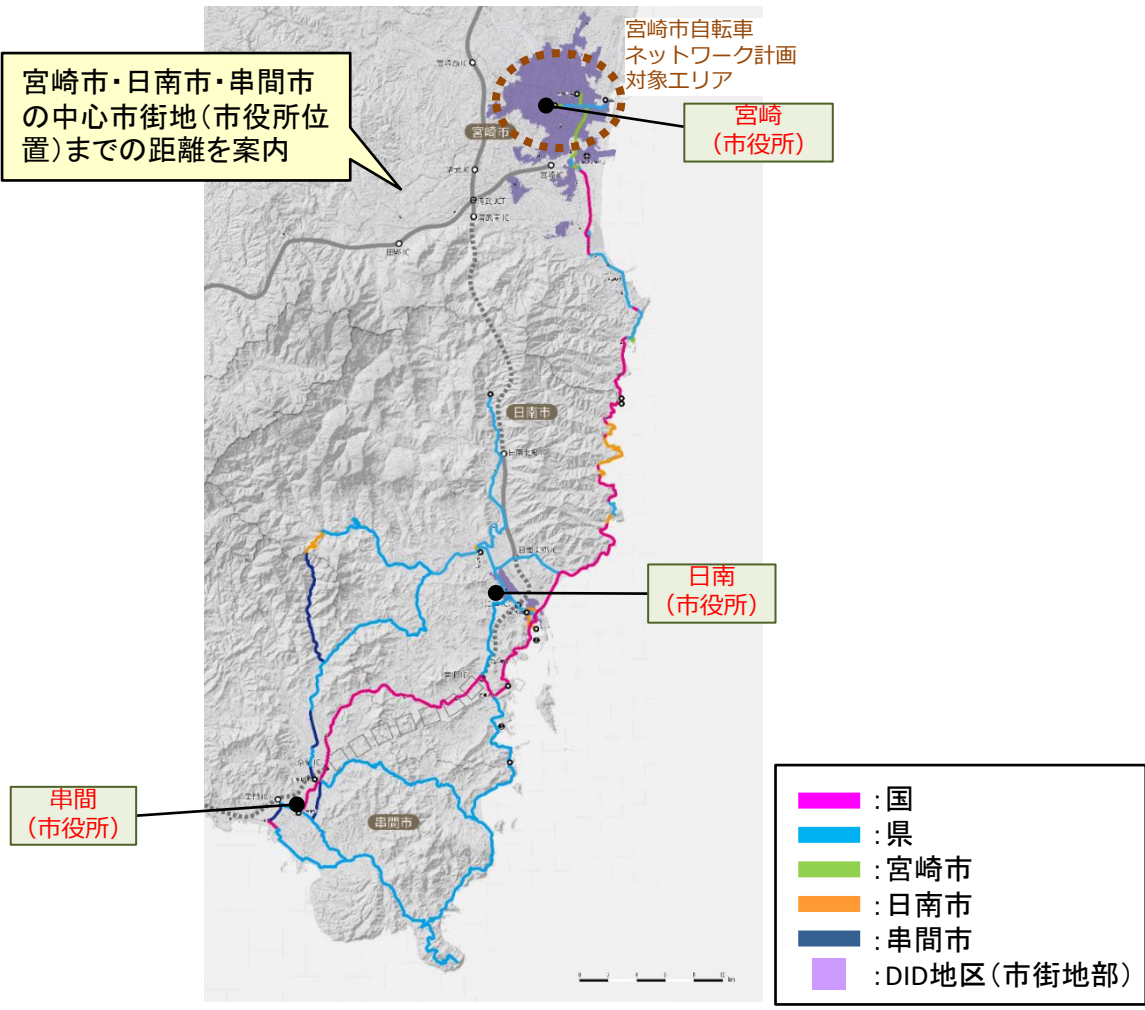


▲交差点部(右左折部・分流部)での案内先



2. 令和4年度整備部会の検討結果について ～案内サイン設置方針～

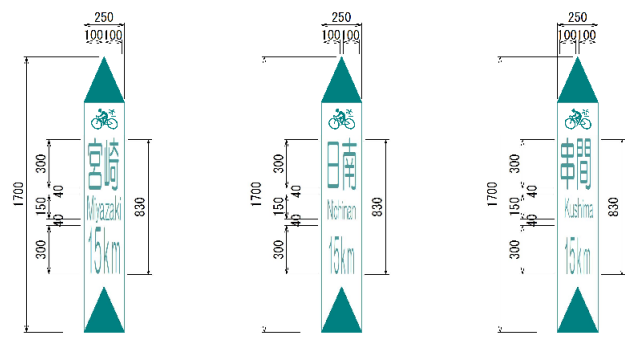
- ◎ルート上には、5km単位で距離標を設置。
- ◎自転車ネットワーク計画などで矢羽根が整備される宮崎市中心部等では、日南海岸サイクリングルートであることを示すため、ロゴマークによる案内サインが設置可能。



▲距離標の案内先

■距離標

- ・5km単位で距離標を設置
- ・案内先は、宮崎、日南、串間の3パターンで、それぞれの中心市街地(市役所位置)までの距離を案内。



■ロゴマーク

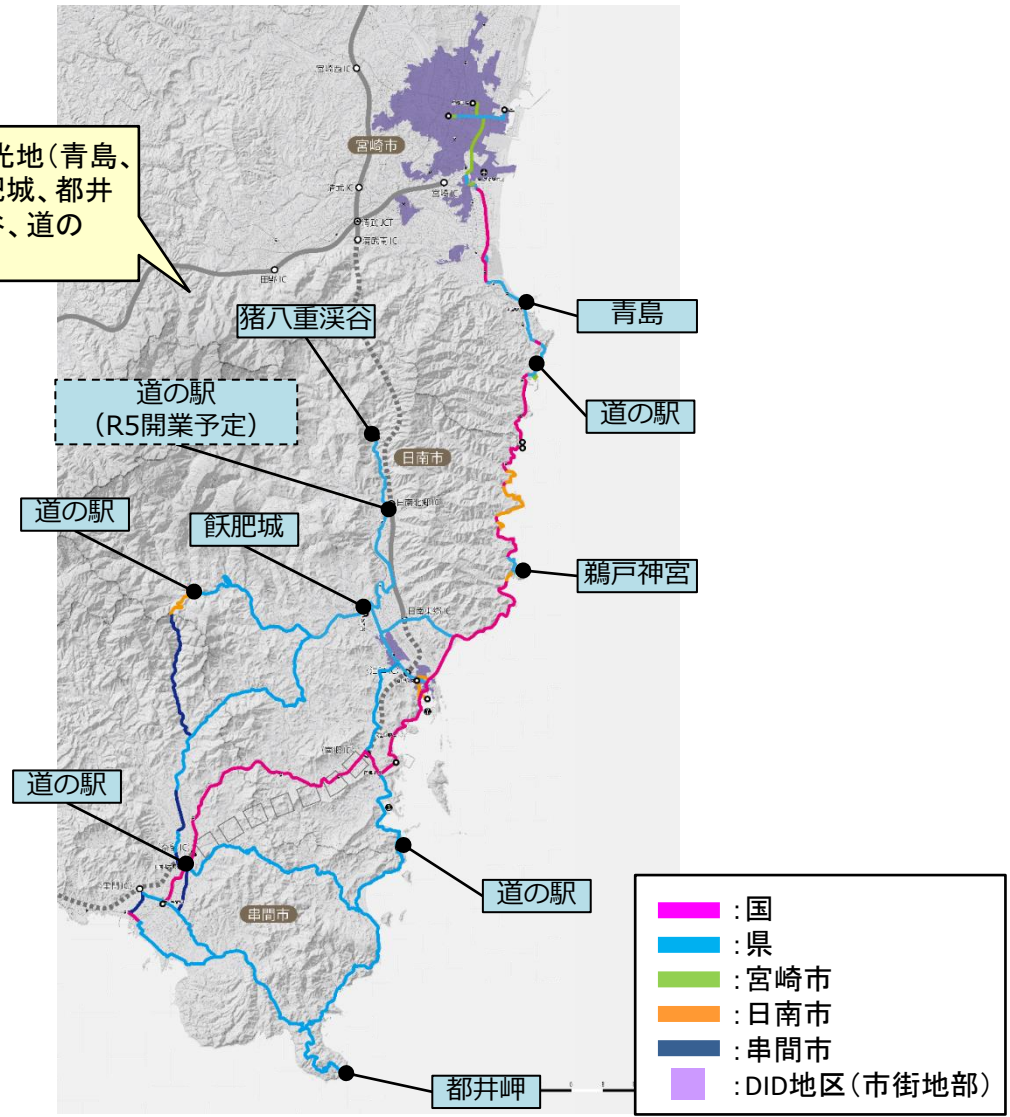
- ・自転車ネットワーク計画などで矢羽根が整備される箇所(宮崎市中心部等)では、ネットワーク計画の矢羽根との混在を避けるため、日南海岸サイクルツーリズムのロゴマークによる案内サインを設置することが可能。



2. 令和4年度整備部会の検討結果について ～案内サイン設置方針～

◎主要観光地付近では、観光地を案内するための案内サインを設置。

域内の主要観光地(青島、
鵜戸神宮、飫肥城、都井
岬、猪八重溪谷、道の
駅)を案内

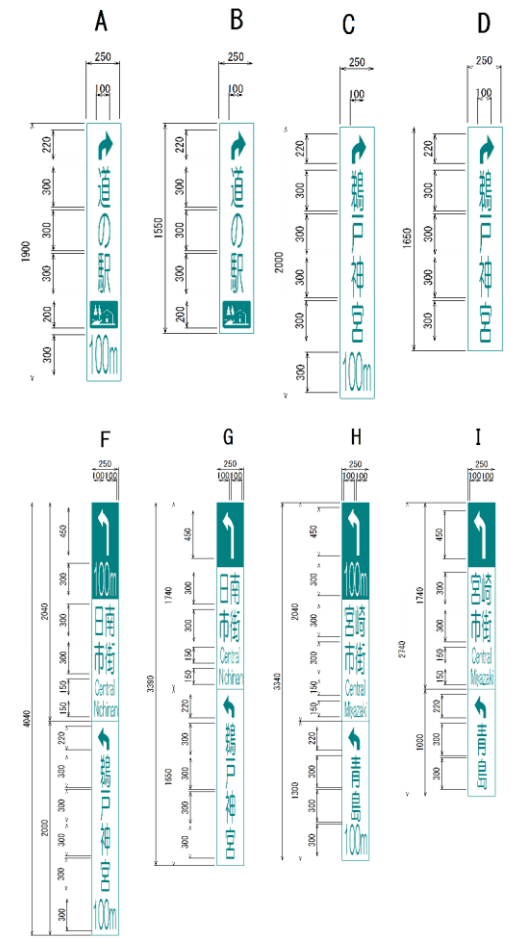


▲観光地の案内先

■観光地の案内サイン設置方針

- ・主要観光地の直前、100m手前に、案内サインを設置(A～D)。
- ・交差点部(右左折部)の案内サインと合わせて設置することも可能(F～I)

観光地案内



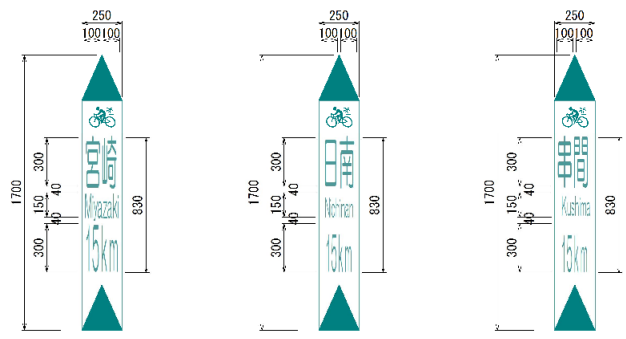
2. 令和4年度整備部会の検討結果について ～案内サイン設置方針～

◎その他、案内サイン、注意喚起サインの設置方針は以下の通りとする。

■ 距離標

- 5km単位で距離標を設置
- 案内先は、宮崎、日南、串間の3パターンで、それぞれの中心市街地(市役所位置)までの距離を案内。

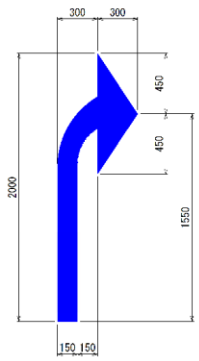
距離標



■ 案内サイン(横断箇所)

- トンネル迂回路案内など、横断が発生する箇所では、横断歩道(自転車横断帯)の手前に、横断を案内する案内サイン(矢印)を設置

矢 印



整備事例(国道220号)

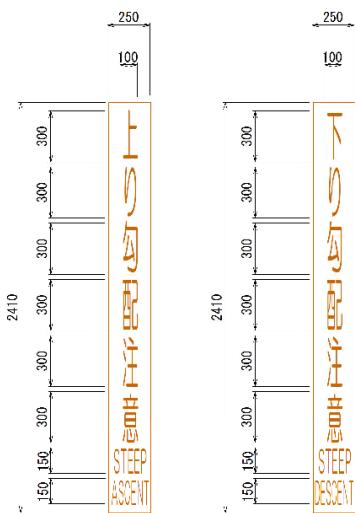


■ 注意喚起サイン(急勾配部)

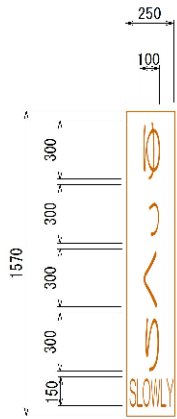
- 5%以上(設計速度60km/h(3種道路)での上限以上)の勾配区間が連続する区間などを対象に、注意喚起サイン(勾配注意)を設置

A

B



C



整備事例(国道220号)

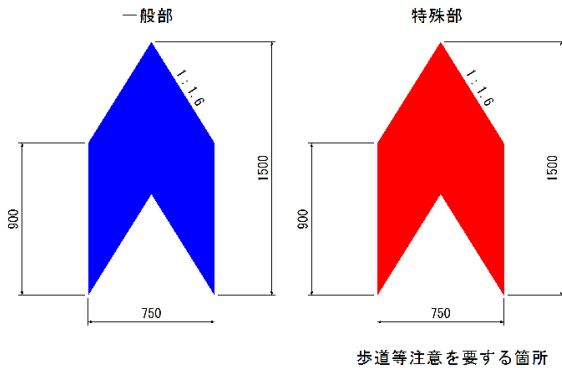


2. 令和4年度整備部会の検討結果について ～案内サイン設置方針～

◎その他、案内サイン、注意喚起サインの設置方針は以下の通りとする。

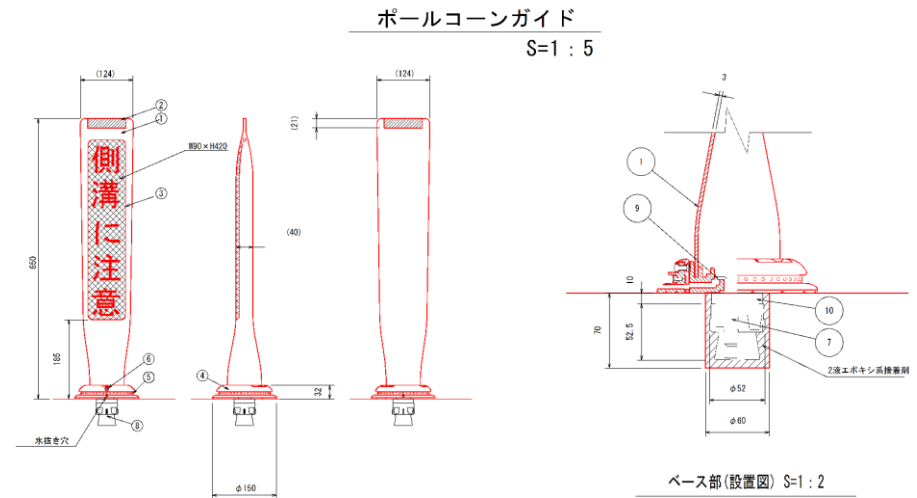
■赤矢羽根(自転車同士の錯綜が発生する区間)

- ・自歩道案内などにより自転車同士の錯綜が発生する区間には、注意喚起のための赤矢羽根を設置。
- ・順方向(左側通行する自転車の順方向)の矢羽根を青、逆方向(左側通行する自転車に対して逆方向)の矢羽根を赤とする。



■ポールコーンガイド(側溝でのスリップなど危険性が懸念される区間)

- ・側溝でのスリップなどの危険性が懸念される区間については、ラバーポールでの注意喚起(側溝に注意)を実施。

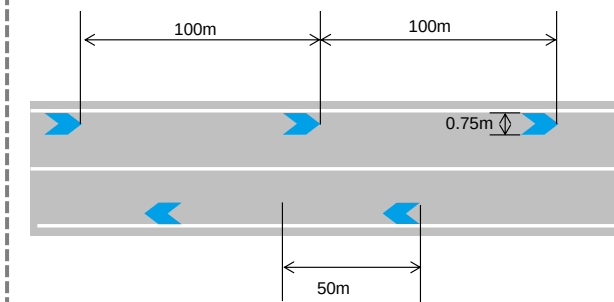


2. 令和4年度整備部会の検討結果について ～案内サイン設置方針～

①宮崎市中心部



※案内サインと合わせて、原則100m間隔で矢羽根を設置
(宮崎市中心部は自転車ネットワーク計画に基づく整備を実施)



-  : 交差点(右左折部)
 : 交差点(分流部)
 : 距離標
 : ロゴマーク
 : 観光地案内
-  : 宮崎県
 : 宮崎市

2. 令和4年度整備部会の検討結果について ～案内サイン設置方針～

②運動公園周辺



③堀切峠周辺



- ：交差点(右左折部)
 - ：交差点(分流部)
 - ：距離標
 - ：ロゴマーク
 - ：観光地案内
-
- ：直轄国道
 - ：宮崎県
 - ：宮崎市
 - ：日南市
 - ：串間市

※案内サインと合わせて、原則100m間隔で矢羽根を設置
(宮崎市中心部は自転車ネットワーク計画に基づく整備を実施)

2. 令和4年度整備部会の検討結果について ～案内サイン設置方針～

④伊比井～宮浦



⑤鶴戸神宮周辺



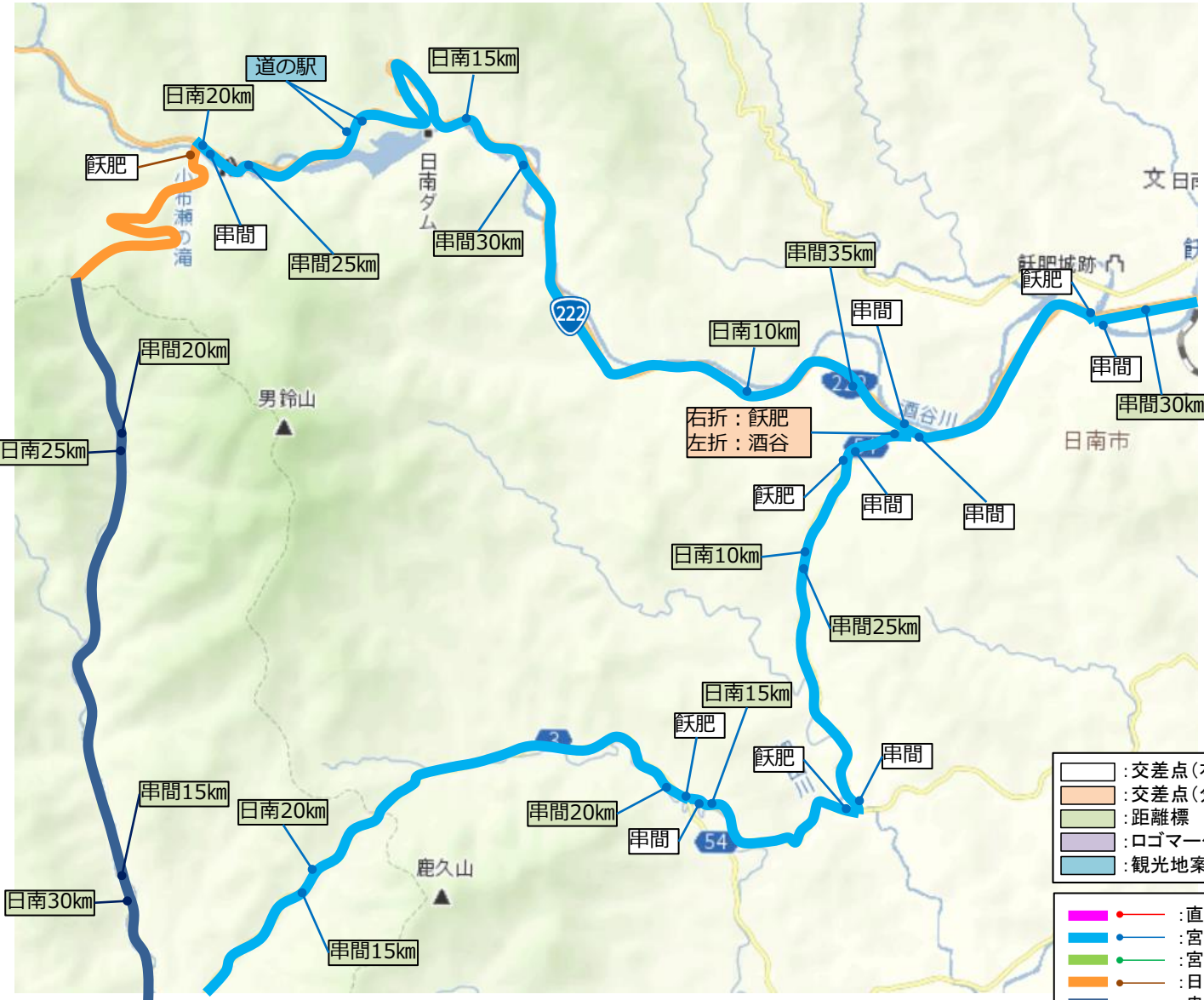
⑥風田～油津駅周辺



※案内サインと合わせて、原則100m間隔で矢羽根を設置
(宮崎市中心部は自転車ネットワーク計画に基づく整備を実施)

2. 令和4年度整備部会の検討結果について ~案内サイン設置方針~

⑩酒谷周辺



※案内サインと合わせて、原則100m間隔で矢羽根を設置

⑪南郷駅周辺



2. 令和4年度整備部会の検討結果について ~案内サイン設置方針~

⑫ 日向大東駅周辺



⑬ 串間駅周辺



⑭ いこいの里周辺



※案内サインと合わせて、原則100m間隔で矢羽根を設置

2. 令和4年度整備部会の検討結果について ~案内サイン設置方針~

⑮都井岬周辺



⑯幸島周辺

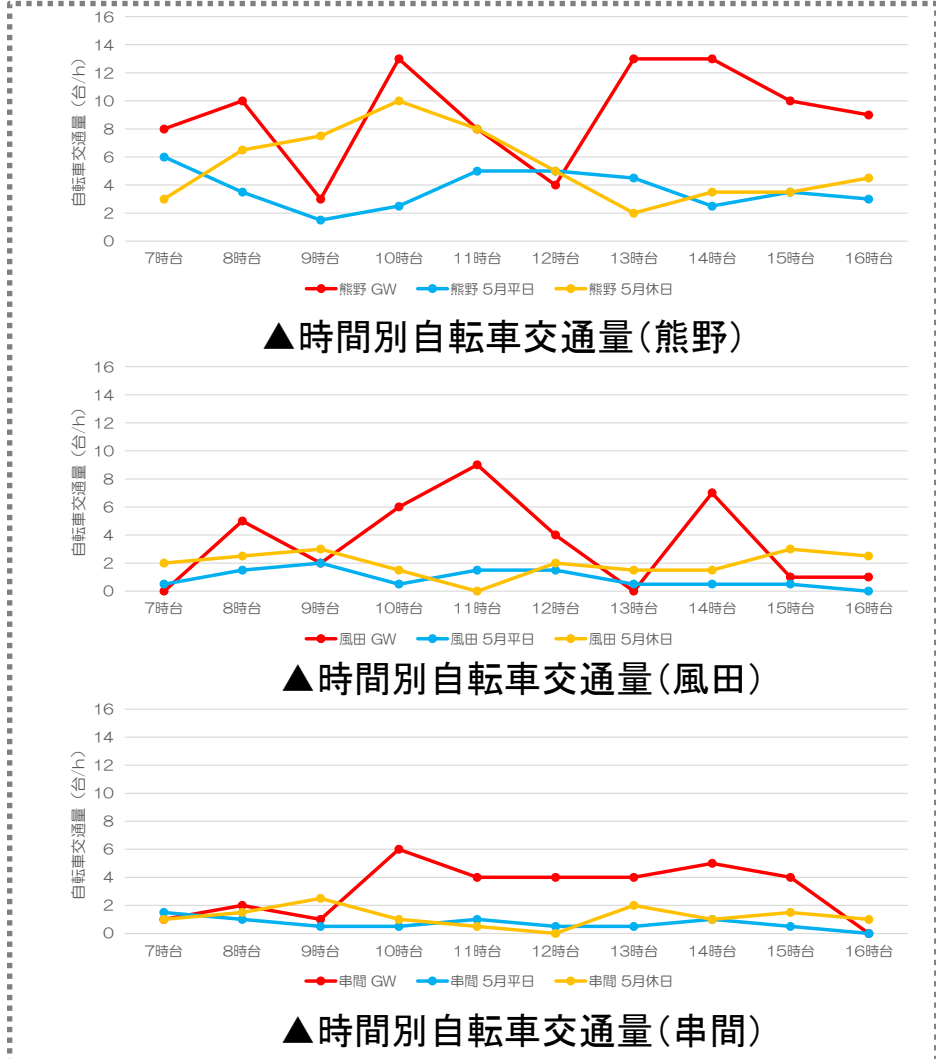
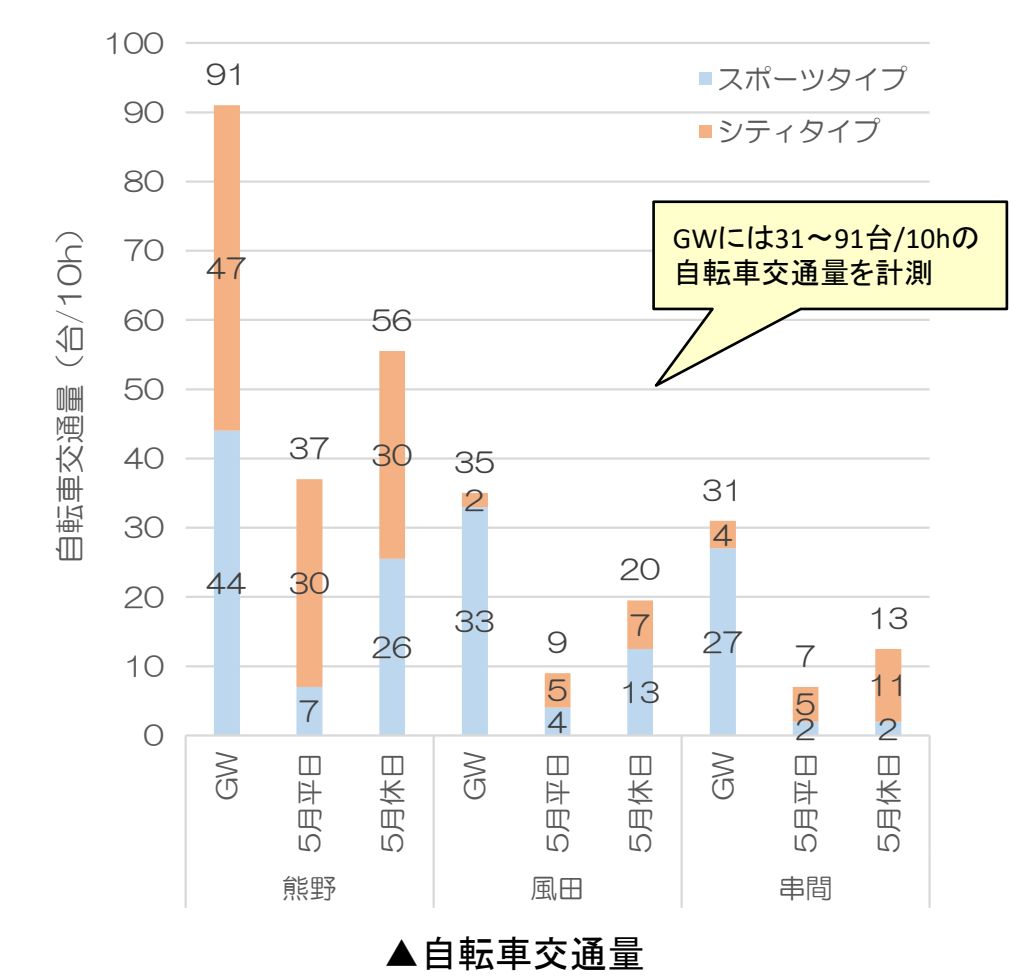


- 交差点(右左折部)
- 交差点(分流部)
- 距離標
- ロゴマーク
- 観光地案内
- 直轄国道
- 宮崎県
- 宮崎市
- 日南市
- 串間市

※案内サインと合わせて、原則100m間隔で矢羽根を設置

2. 令和4年度整備部会の検討結果について ～効果検証～

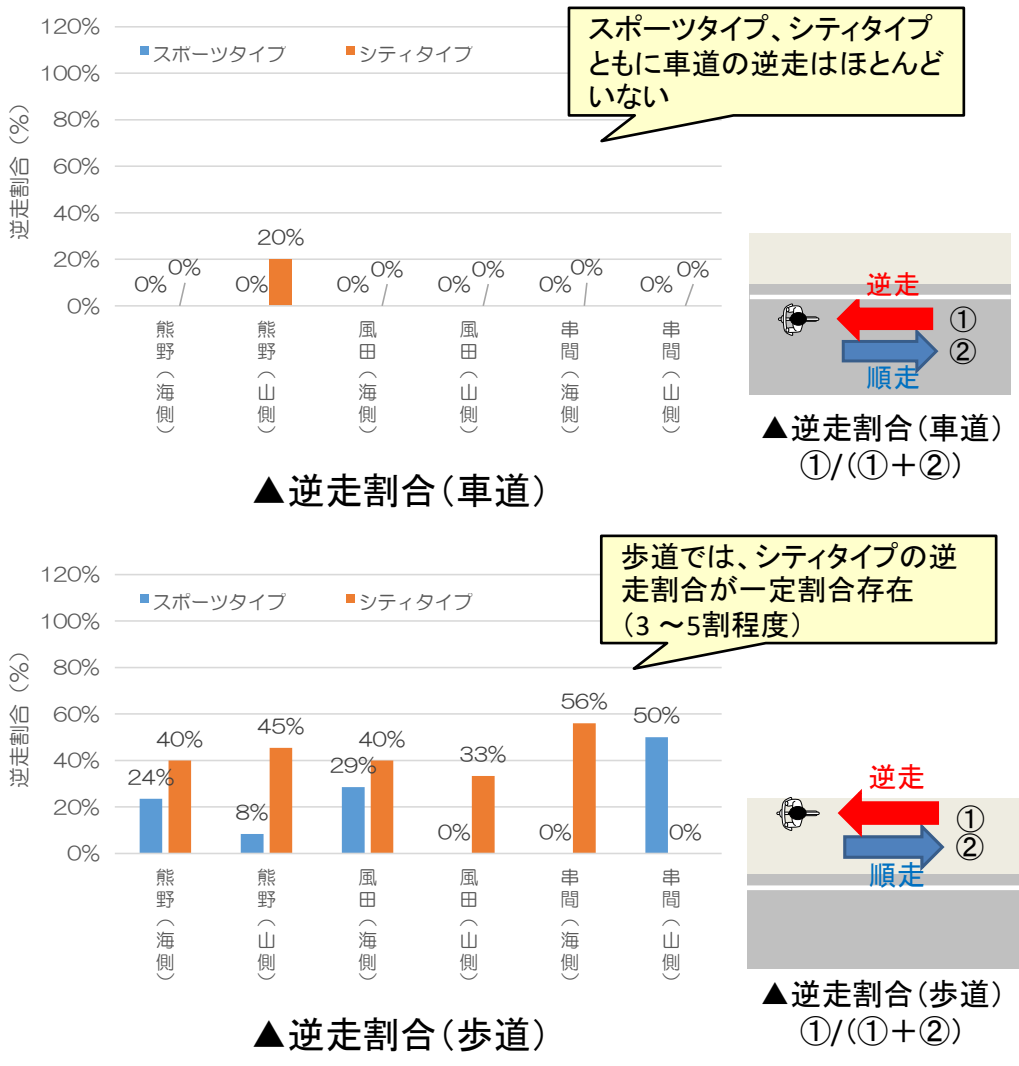
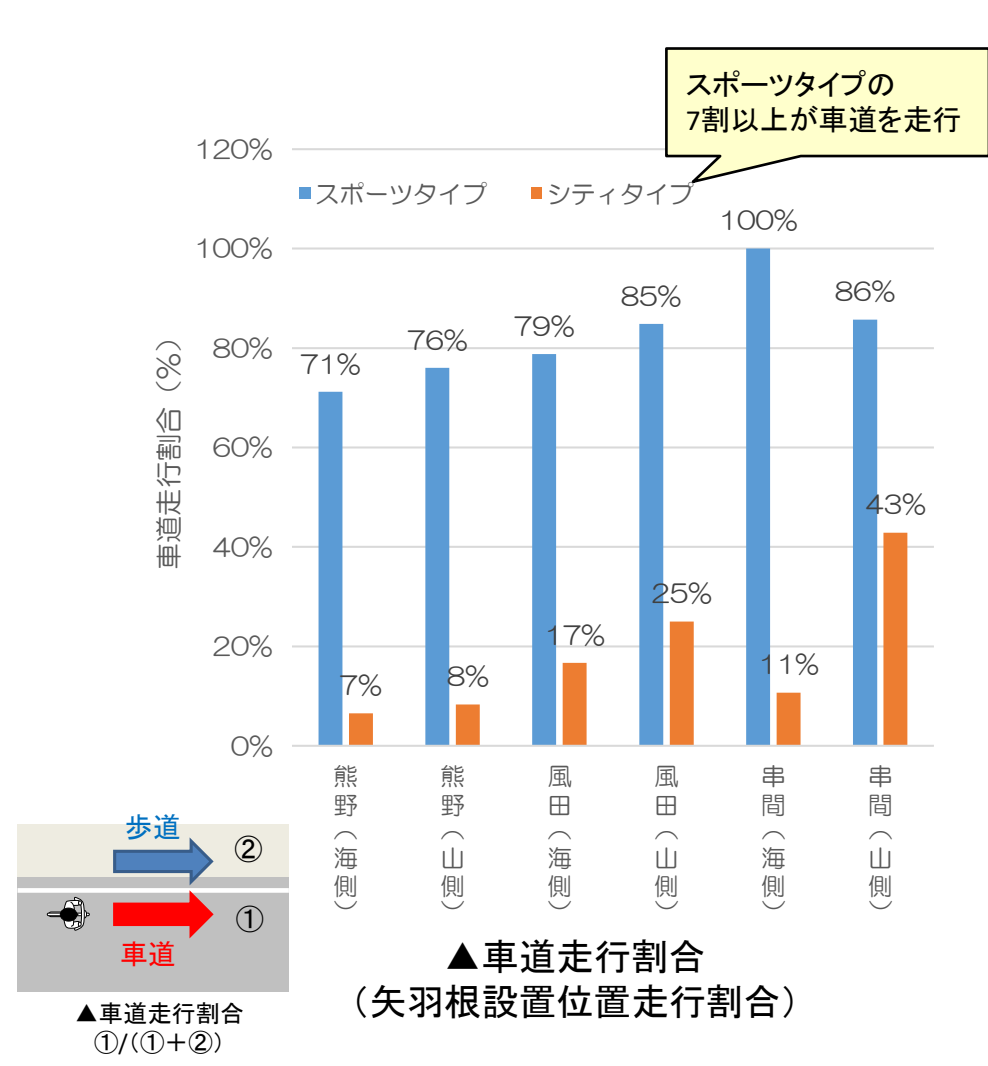
- ◎熊野の自転車交通量が最も多い。
- ◎観光ピーク期であるGWには、熊野で91台/10h、風田で35台/10h、串間で31台/10hの自転車交通を計測。
- ◎5月平日は7～37台/10h、5月休日は13～56台/10hの自転車交通量を計測。
- ◎熊野ではシティタイプの自転車が、風田、串間ではスポーツタイプが多い。



※CCTVカメラ計測結果(7～17時の10時間を対象に計測)
GW:R4.5.3(火祝)、5月平日(R4.5.18(水)、R4.5. 19(木)の2日間平均値、5月休日(R4.5.22(日)、R4.5. 28(土)2日間平均値)

2. 令和4年度整備部会の検討結果について ～効果検証～

- ◎スポーツタイプの車道走行割合(矢羽根設置位置走行割合)は、7割以上。
- ◎逆走割合(車道)はいずれの箇所でも低い。逆走割合(歩道)はシティタイプで3～5割程度を占める。



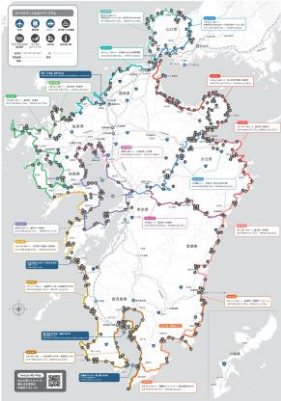
※CCTVカメラ計測結果 (7～17時の10時間を対象に計測)
GW:R4.5.3(火祝)、R4.5.18(水)、R4.5.19(木)、R4.5.22(日)、R4.5.28(土)の5日間集計値

2. 令和4年度整備部会の検討結果について ～他地域との連携検討～

◎今後、九州・山ロー周ルートとのルート整合や接続方針を検討していく必要がある。

九州・山ロー周ルート

(ルート4: 宮崎市～串間市)



今後、九州・山ロー周ルートと日南海岸サイクリングルートでのルート整合を図っていく必要がある。



— : 日南海岸サイクリングルート
— : 九州・山ロー周ルート

詳細ルート(STRAVA)

ルート3: <https://www.strava.com/routes/2787744446072773322>

ルート4: <https://www.strava.com/routes/2787742869354341278>

ルート5: <https://www.strava.com/routes/2790874054123700928>

(ルート3: 延岡市～宮崎市)



(ルート5: 串間市～南大隅町)

